

## 1 架け橋期のカリキュラムの概要

### (1) 架け橋期の白石市幼保小接続カリキュラム（暫定版）の実践と改善・全体計画（案）の作成

- アプローチカリキュラムは、「生活をつなぐ」「人をつなぐ」「学びをつなぐ」の観点で整理。環境構成を具体的に示し、育てたい10の姿を入れて作成。
- スタートカリキュラムは、週案タイプ（5月上旬まで）、生活科中心の単元デザイン及び単元デザインに関連する幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を踏まえたものを作成。現在、生活科の単元指導計画に、市内各園で取り組んできた遊びを書き込んだものを作成中。生活科の単元の内容を園に理解してもらいながら、自園で取り組んでいる関連する遊びを示し、体験研修等での話題に取り上げ、改善に生かしていく。

### (2) 市内全ての保育園、幼稚園、小学校、中学校を対象とした各種研修等の実施

#### ①体験研修（中学区で3つのブロックに分け、市内全ての園・小学校に出向いて行う一日研修）

- 保育園・幼稚園体験研修（7月、1月） 対象者：小学校の教師各校2名～3名  
⇒ アプローチカリキュラムの実践等保育参観、昼食（給食）参観、園職員との情報交換
- 小学校体験研修（4月、11月） 対象者：幼稚園の教師、保育園の保育士（5歳児担当者を中心に）  
⇒ スタートカリキュラムの実践等の活動・生活科の授業参観、給食参観、小学校職員との情報交換

#### ②体験研修後の合同研修（4月、8月、11月、1月に3つの中学校区でブロックごとに小学校担当校長と体験研修参加者により開催）

- 保育・授業について、子供たちの活動の様子について話し合い、振り返りを行う。
- 滑らかな接続に向けて相互の思いや子供たちのことについて情報交換を行い、顔の見える関係性を深める。

#### ③接続カリキュラム合同研修（4月、11月） 対象者：各園5歳児担当者等、各小学校1年生担任等

- アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム実践に向けた趣旨や取組の説明、実践の振り返り、情報交換

#### ④架け橋プログラム事業理解研修

- 管理職対象：（講師）架け橋プログラム開発会議メンバー大学教授（対面）
- 各園、小学校、中学校職員対象：（講師）架け橋プログラム開発会議メンバー大学教授（オンライン）
- 市内園、小中学校職員、開発会議メンバー、近隣市町関係者対象：（講師）横山調査官（対面）

#### ⑤広報物の発行（データを各園、小学校、中学校に送付し、教職員・保護者への周知を図る）

- 架け橋プログラム事業の取組についての理解や研修内容の周知を行う。
- 保護者向けのリーフレットを現在作成中。2月の小学校一日入学時に配布。

## 2 作成のプロセス

- 校長会幼保小連携担当の小学校長5名、公立及び私立幼稚園・保育園長10名、小学校各校教諭9名、幼稚園代表教諭・保育園代表保育士2名、連携担当課の職員4名で構成する運営会議を立ち上げ、「研修」「広報」「カリキュラム」「総務・渉外」に分かれて各取組の計画・検討・作成・実践・共有を行っている。
- 接続カリキュラムを作成する際は、開発会議メンバーである大学教授に指導・助言をもらった。作成に当たっては、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムをそれぞれが作成し、その後、園と小学校で意見交換を行い共有を行った。

<p>教師の指導・援助及び子供の学びの変化</p>	<p><b>1 教師の指導・援助</b></p> <p><b>【幼稚園・保育園】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムがあることで、就学前の子供たちへの働きかけの指針になり、就学に向けて子供たちと一緒に整えていくことができる。</li> <li>・生活習慣の自立や遊びから学習につながるように意識したり、自分たちで考えて動けるようにしたり心がけるようにしている。</li> <li>・滑らかな接続に向けて生活面や遊び等をこれまでよりも意識して保育をしている。それが子供たちの意識にもつながっていくと感じている。</li> </ul> <p><b>【小学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科を中心として合科的・関連的な指導を工夫するようにしている。</li> <li>・子供たちの学びが自然に広がっていくような環境構成を工夫するようにしている。</li> <li>・幼保の先生の子供への関わり方を参考に、思いをくみ上げたり、広げたりすることを重視するようにしている。子供の思いからスタートして指導内容を工夫するようになった。</li> <li>・「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」を踏まえて、そこからどうつなげてどう育てていくかを考えるようにしている。</li> </ul> <p><b>2 子供の学びの変化</b></p> <p><b>【幼稚園・保育園】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプローチカリキュラムから様々な活動に興味をもって取り組んでいる。個人差はあるが、いろいろ感じたり、考えたり、表現したりと成長が見られる。</li> <li>・「生活をつなぐ」では、普段の園生活の中に浸透しており、絵表示などの視覚的支援を見て自分で取り組む姿が増えている。最初に丁寧に知らせたり気付かせたりすることにより子供たちは自ら柔軟に対応している。</li> <li>・小学校との交流から1年生になることに期待がふくらむとともに、小学生の姿からあこがれをもち、まねをしたり意識して過ごしたりする姿が出てきた。</li> </ul> <p><b>【小学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートカリキュラムによって小学校生活へのギャップが少なくなった。</li> <li>・「幼保でやったことがある」という経験が小学校でも生かされるようになり、安心につながっている。</li> <li>・自分で考えて行動したり、思いを広げたりすることができる場面が増えた。</li> </ul>
<p>次年度以降の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○架け橋期のカリキュラム市共通全体計画の完成（持続的な幼保小中の連携を目指して）</li> <li>○小学校1年・2年、3年～6年、中学校の全体計画（3つの中学校区ごと）の完成</li> <li>○教職員・保育士向けハンドブックの作成</li> <li>○円滑な接続につながる園から小学校への引継ぎ内容の市共通版の作成</li> <li>○5歳児担当者・1年生担任等合同研修・情報交換の実施（4月、10月、2月）PDCAサイクルによるカリキュラムの改善・更新</li> <li>○園・小学校相互での一日体験研修の充実（年各2回）</li> <li>○市内小学校オープンスクールの充実（開催時期、内容の再検討：5歳児と保護者対象） 今年度は12月に市内一斉に実施。</li> </ul>

白石市架け橋期カリキュラム 全体計画(案)

令和4年度幼保小架け橋プログラム作成委員会

期	【前期】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	【後期】	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
目指す子どもの姿	自分から進んで取り組む(自立)			友だちと知恵や工夫を出し合っ(協同)					見つけたこと、思ったことを伝えよう(豊かな感性と表現)																																		
ねらい	◎様々な遊びを意欲的に行う中で、満足感を味わい自信をもつ。 ◎友達と共通の目的をもち、自分の力を発揮しながら協力して達成することの喜びを味わう。							◎集団生活に必要なルールや約束を守り、就学に期待をもちながら見通しや目標をもって生活する。 ◎様々な活動や体験を通して、友達と協力したり、創意工夫して遊ぶ中で、いろいろな表現を楽しむ。																																			
保育内容	生活をつなぐ	○自分の身の回りのことは自分です。 ・手洗いうがいを身につける ・歯みがきしよう ・マナーや約束を守る ・食事のマナーを覚えよう ・箸の使い方 ・指先をしっかりと使えるかな？ ・排泄の約束を身に付けよう ・着脱や物の整理の仕方を覚えよう ・ロッカーの整理はできる？ ・遊びの準備や片付けをする。 ・服を着替えたり、たたんだりする。 ・持ち物の始末や整理をする。 ・指先を使って遊ぼう ・交通ルールを意識しよう ・通学路を歩いてみよう。																																									
	人をつなぐ	○見通しをもって生活をする。 ・時計を見て時間を意識する ・交通ルールを知る														○時間を意識して生活する。 (あそび、昼食、着替えなど)														○時計を見て生活してみよう (給食時間、午睡時間 片付けの時間など) * 小学校の生活時間に近づ													
	学びをつなぐ	○遊びの広がり <個の遊び> ・好きな遊びをじっくりと ・指先を使って遊ぼう ・自然物を使って遊ぼう ・言葉集め ・いろいろお仕事探し ・手紙を書こう <協同の遊び> ・名人さん名物を探そう ・見つけよう！ 捕まえよう！ 飼ってみよう！ ・水に触れて遊ぼう ・ごっこ遊び ・発表会の準備をしよう ・すごろく ・学校探検 <集団での遊び> ・こしのぼたん ・はないちもんめ ・お茶を飲みに来てください ・なべなべそこぬけ ・鬼ごっこ ・昔遊びを地域のひと ・リレーごっこ ○地域との交流(地域の名人、名物探し・いろいろな仕事あるね・夏祭り・秋祭り・公民館祭り・文化祭・敬老会・ゴミ拾い)																																									
	生活をつなぐ	○小学校ってどんなところ？ 行ってみよう！ → 一緒に遊ぼう → <小学生ってすごいな！> → <もうすぐ1年生> 授業参観・学校探検																																									
保と幼共通の遊び	○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする。 ・生活に必要な会話ををする。 ・人の話をよくきく。 ・人前で話をする。 ・相談したり、話し合ったりする。 ・絵本、紙芝居、童話、素話などを見たり聞いたりする。																																										
小学校	春だよ！ 種をまこう育てよう しりとりに遊び・言葉集め・数字遊び 探ってみよう 遊んでみよう 食べてみよう 郵便ごっこをしよう 名前は読める？ 書ける？ 生き物バンザイ！ 見つけよう捕まえよう飼ってみよう 水っておもしろいね！ 秋の自然物で遊ぼう すごろく遊び 学校ごっこを楽しもう																																										
保と幼共通の遊び	・歌「友だち讃歌」「春がきたんだ」「一年生マーチ」 ・手あそび「グー、チョキ、パー」「お寺のおしょうさん」「大きくなったらなんになるう」 ・ふれあい遊び「お茶を飲みに来てください」 ・ゲーム「じゃんけん列車」 ・鬼ごっこ「引っ越し鬼」 ・お話「へったれ嫁さん」「もちもちの木」「はなさき山」 ・体操「白石うーめんたいそう」 ・ことばあそび「白石市暗唱読本」																																										
小学校	(生活科を中心に) スタートカリキュラム がっこうだいすき(20) ・がっこうのことしりたいな ・みんなとなかよくなりたいな ・ともだちとがっこうをたんけんしよう ・がっこうにいるひととなかよくなるう ・みんなで見つけたことをつたえよう ・みんなであつうがくろがあるこう なつがやってきた(8) ・こういでくさばなやむしをさがそう ・みんなこうえんであそぼう ・あめあがりのこういでたんけんしよう ・たのしかったことをつたえよう いきものとなかよし(8) ・むしをさがそう ・むしとなかよくなるう ・みんなであつうがくろをかおう たのしい秋いっぱい(21) ・こういであきをさがそう ・こうえんであきをさがそう ・はっぱやみであそぼう ・あきのことをつたえよう ・たねをまこう ・あきのおもちやをつくろう ・いっしょにあそぼう ・はなやはであそぼう じぶんのできるよ(12) ・じぶんのいちにちをみつめよう ・じぶんのできることをしよう ・これからもつづけよう ・むかしからつたわるあそびをたのしもう ふゆをたのしもう(9) ・こういでふゆをさがそう ・ふゆのこうえんにいこう ・ゆきやこおりであそぼう ・ふゆのことをつたえよう もうすぐ2ねんせい(18) ・あたらしい1ねんせいをしようたいしう ・しようたいしたいことをはなしあおう ・いちねんかんをふりかえろう																																										
保と幼との交流活動	きれいにさいてね(8) ・たねをまこう ・せわをしよう ・なはのようすをつたえよう ・たねをまこう ・あきにもそだてよう 各教科との関連は、単元デザイン参照 ※単元で育成を目指す姿【生活をつなぐ(自立)、人をつなぐ(協同性)、学びをつなぐ(豊かな感性と表現)】は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながり参照 あきのおもちややさん しようたいしう あたらしい1ねんせいを しようたいしう																																										

# 令和5年度 白石市幼保小接続 (アプローチ&スタート) カリキュラム



## (暫定版)

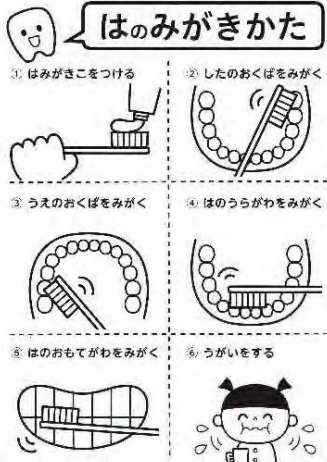
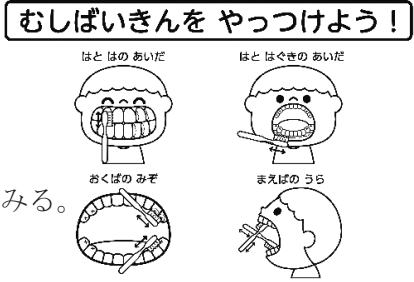
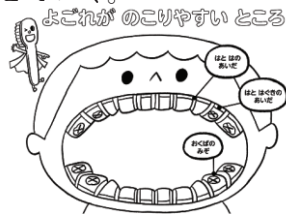


期	【前期】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	【後期】	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
目指す子ども像	自分から進んで取り組む(自立)			友だちと知恵や工夫を出し合っ(協同)					やってみたいをやってみる(豊かな感性と表現)						
ねらい	◎様々な遊びを意欲的に行う中で、満足感を味わい自信をもつ。 ◎友達と共通の目的をもち、自分の力を発揮しながら協力して達成することの喜びを味わう。							◎集団生活に必要なルールや約束を守り、就学に期待をもちながら見通しや目標をもって生活する。 ◎様々な活動や体験を通して、友達と協力したり、創意工夫して遊ぶ中で、いろいろな表現を楽しむ。							
保育内容	生活をつなぐ	○自分の身の回りのことは自分でする。 ・手洗いうがいを身につける ・歯みがきしよう ・マナーや約束を守る ・食事のマナーを覚えよう ・箸の使い方 ・指先をしっかり使えるかな？ ・排泄の約束を身に付けよう ・着脱や物の整理の仕方を覚えよう ・ロッカーの整理はできる？ ・遊びの準備や片付けをする。 ・服を着替えたり、たたんだりする。 ・持ち物の始末や整理をする。 ・指先を使って遊ぼう ・交通ルールを意識しよう ・通学路を歩いてみよう。													
	人をつなぐ	○見通しをもって生活をする。 ・時計を見て時間を意識する ・交通ルールを知る → ○時間を意識して生活する。(あそび、昼食、着替えなど) → ○時計を見て生活してみよう(給食時間、午睡時間 片付けの時間など) * 小学校の生活時間に近づ													
	学びをつなぐ	○遊びの広がり <個の遊び> ・好きな遊びをじっくりと ・指先を使って遊ぼう ・自然物を使って遊ぼう ・言葉集め ・いろいろお仕事探し ・手紙を書こう <協同の遊び> ・名人さん名物を探そう ・見つけよう！ 捕まえよう！ 飼ってみよう！ ・水に触れて遊ぼう ・ごっこ遊び ・発表会の準備をしよう ・すごろく ・学校探検 <集団での遊び> ・ことしのぼたん・はないちもんめ ・お茶を飲みに来てください ・なべなべそこぬけ ・鬼ごっこ ・昔遊びを地域のひと ・リレーごっこ ○地域との交流(地域の名人、名物探し・いろんな仕事あるね・夏祭り・秋祭り・公民館祭り・文化祭・敬老会・ゴミ拾い) ○小学校ってどんなところ？ 行ってみよう！ → 一緒に遊ぼう → <小学生ってすごいな！> → <もうすぐ1年生>授業参観・学校探検 (学校に行ってみよう！) (あそばせて！) (見たい、聞きたい混ざりたい) (1年生ってすごいね) (学校は大きいね。)													
	学びをつなぐ	○人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話をしたりする。 ・生活に必要な会話をする。 ・人の話をよくきく。 ・人前で話をする。 ・相談したり、話し合ったりする。 ・絵本、紙芝居、童話、素話などを見たり聞いたりする。 春だよ！ 種をまこう育てよう   しりとり遊び・言葉集め・数字遊び   探ってみよう 遊んでみよう 食べてみよう   郵便ごっこをしよう   名前は読める？ 書ける？ 生き物バンザイ！ 見つけよう捕まえよう飼ってみよう   水っておもしろいね！   秋の自然物で遊ぼう   すごろく遊び   学校ごっこを楽しもう													
保と幼共通の遊び	・歌「友だち讃歌」「春がきたんだ」「一年生マーチ」 ・手あそび「ゲー、チョコ、パー」「お寺のおしょうさん」「大きくなったらなんになろう」 ・ふれあい遊び「お茶を飲みに来てください」 ・ゲーム「じゃんけん列車」 ・鬼ごっこ「引越し鬼」 ・お話「へったれ嫁さん」「もちもちの木」「はなさき山」 ・体操「白石うーめんたいそう」														
小学校	スタートカリキュラム	がっこうだいすき(20) ・がっこうのことしりたいな ・みんなとなかよくなりたいな ・ともだちとがっこうをたんけんしよう ・がっこうにいるひととなかよくなるよう ・みんなで見つけたことをつたえよう ・みんなであそぶ ・みんなであそぶことをつたえよう なつがやってきた(8) ・こういてくさばなやむしをさがそう ・みんなこうえんであそぼう ・あめあがりのこういてをたんけんしよう ・たのしかったことをつたえよう いきものとなかよし(8) ・むしをさがそう ・むしとなかよくなるよう ・みんなであそぶことをつたえよう じぶんのできるよ(12) ・じぶんのいちにちをつまみつけよう ・じぶんのできることをしよう ・これからもつづけよう ・むかしからつたわるあそびをたのしもう ふゆをたのしもう(9) ・こういてふゆをさがそう ・ふゆのこうえんにいこう ・ゆきやこおりであそぼう ・ふゆのことをつたえよう もうすぐ2ねんせい(18) ・あたらしい1ねんせいをしようたいしよう ・しようたいしたいことをはなしあおう ・いちねんかんをふりかえろう たのしい秋いっぱい(21) ・こういてあきをさがそう ・こうえんであきをさがそう ・はっぱやみであそぼう ・あきのことをつたえよう ・たねをとうろく ・あきのおもちやをつくろう ・いっしょにあそぼう ・はなやはであそぼう ※各教科との関連は、単元デザイン参照 ※単元で育成を目指す姿【生活をつなぐ(自立)、人をつなぐ(協同性)、学びをつなぐ(豊かな感性と表現)】は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のつながり参照													
	保と幼との交流活動	きれいにさいてね(8) ・たねをまこう ・せわをしよう ・なはのようすをつたえよう ・たねをとうろく ・あきにもそだてよう あきのおもちやさん しようたいしよう あたらしい1ねんせいを しようたいしよう													

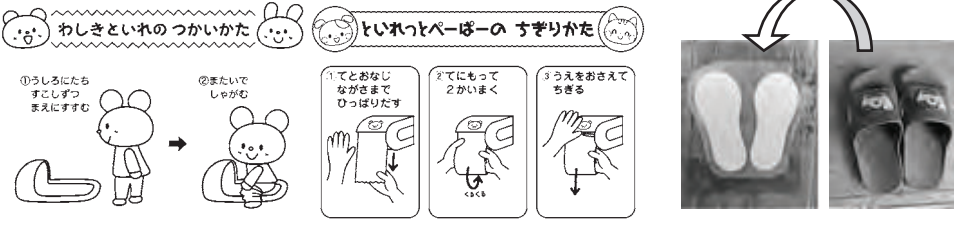
# アプローチ カリキュラム





<p>活動名</p>	<p>手洗い・うがいをする</p>	
<p>ねらい</p>	<p>◎手洗い，うがいの大切さを知る。 ◎手洗い，うがいの正しいやり方を知り身に付ける。</p>	
<p>環境構成</p>	<p>◆絵本やイラストなどを使い，手や喉には，ばい菌がいることを分かりやすく知らせる。 ◆手洗いやうがいのやり方や流れが分かるよう，イラストや写真を使い知らせ，見ながらできるよう掲示しておく。 ◆楽しく様々な部位の手洗いができるよう，歌や音楽を活用していく。</p> <div data-bbox="922 828 1348 1048" data-label="Image"> </div>	
<p>幼児の活動</p>		<p>保育者の配慮・援助</p>
<p>① 絵本やイラストを見る。 ② 手洗い，うがいの大切さや必要性を考える。 ・体の中に，ばい菌が入って病気にならないように手を洗う。 ・きれいな手で食べると気持ちがよい。など ③ 手洗い，うがいのやり方を知り，実際にやってみる。 ・手洗いの仕方を，保育者を見ながら真似て手を動かしてしてみる。 ・うがいには「ぶくぶくうがい」と「がらがらうがい」があることを知り，口を動かす。</p> <p>&lt;手洗いのやり方&gt;</p> <div data-bbox="226 1680 826 2011" data-label="Image"> </div>		<p>◇手洗いの必要性に気づけるよう，手にばい菌がついているイラストを見たり，絵本を見たりする。 ◇手洗い，うがいは何のためにするのか気づけるよう，幼児と一緒に考え，大切さに気づけるようにする。 ◇保育者が実際に手洗い，うがいのやり方をやって見せる。 ◇手洗い，うがいの絵や写真を見たり，音楽を聞いたりして，進んで取り組めるようにする。 ◇うがいは用途によって2種類があることが分かるよう，使い方と理由を知らせていく。</p> <p>&lt;うがいのやり方&gt;</p> <div data-bbox="874 1758 1385 2011" data-label="Image"> </div>

活動名	歯磨きをしよう	
ねらい	◎歯を大切にしようとする気持ちをもつ。 ◎歯を清潔にする習慣を身に付ける。	
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の歯について考えるきっかけになるように、歯科検診や虫歯予防デーなどの機会を逃さず活かしていく。</li> <li>◆歯磨きの大切さや必要性がわかるような絵本やシアターなどを用意する。</li> <li>◆歯の部位ごと（上、前、裏）の磨き方が分かるように、歯の模型やイラストなどを用意して知らせる。</li> <li>◆しっかり磨くことができるように、用意した歯磨きの音楽に合わせてたり、保育者の真似をして磨いたりする。</li> <li>◆歯ブラシの持ち方や歯ブラシの毛が広がっていないか確認する。</li> </ul>	
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 歯磨きをする理由を考える。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫歯にならないようにするため。</li> <li>・食べられなくならないため。</li> </ul> </li> <li>② 自分の歯磨きについて振り返る。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、昼、夜歯磨きをしているか。</li> <li>・自分でしっかり磨いているか。</li> <li>・仕上げ磨きをしてもらっているか。</li> </ul> </li> <li>③ 歯磨きの仕方を確認する。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての歯にブラシが当たると良い。</li> <li>・歯の裏側も気を付けて磨くと良い。</li> </ul> </li> </ol> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ 実際に磨いてみる。</li> <li>⑤ 口をゆすぐ。</li> <li>⑥ 毎日の歯磨きで、磨き方を確認しながら丁寧に歯を磨く。（歯を大切にする。）</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇なぜ歯磨きをする必要があるのかを一緒に考え、気づくことができるようにする。</li> <li>◇歯磨きを朝、昼、夜行っているか、歯磨きは自分でしなければいけないことと分かっているか確認する。</li> <li>◇どのように磨くと歯の汚れが落ちるのか、どこに汚れが残りやすいのかなどを知らせていく。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇保育者が一緒に磨きながら、磨き方や歯ブラシの持ち方などを確認する。</li> <li>◇口のゆすぎ方や歯ブラシの洗い方を知らせる。</li> <li>◇歯を大切にしている気持ちをもてるよう、知らせていく。</li> </ul>	



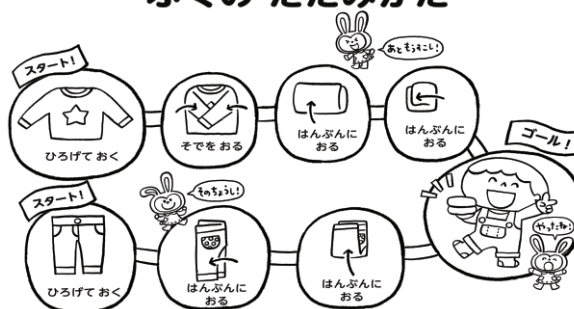
<p>活動名</p>	<p>排泄の仕方を身に付けよう</p>	
<p>ねらい</p>	<p>◎排泄後の始末が、自分でできるようになる。 ◎トイレをきれいに使おうとする。</p>	
<p>環境構成</p>	<p>◆上靴や、スリッパの置く場所が分かるように、目印を貼る。 ◆トイレの使い方の絵表示を貼る。(トイレットペーパーの長さが分かるようにする, 和式トイレの使い方を知らせるなど。)</p> <p>和式トイレ表示↓      トイレットペーパー表示↓      スリッパ表示↓</p> 	
<p>幼児の活動</p>	<p>保育者の配慮・援助</p>	
<p>○トイレや便器の使い方をみんなで確認する。</p>  <p>○事後には手洗いをしっかりする。</p> <p>○排泄時間について考える。</p>	<p>◇きれいなトイレの使い方について、みんなで考える機会をもつ。 (脱いだ上靴やスリッパを揃えるなど、何のための行動なのか約束の確認をする。)</p> <p>◇男児は立ち小便器を使えるように、立ち位置や、ズボンのおろす位置を知らせていく。</p> <p>◇女児は、尿・便共に前から後ろに向かって拭くように伝え、徐々に自分でできるように見守る。</p> <p>◇トイレットペーパーの使い方や長さが分かるように、個室に絵カードなどで分かりやすく掲示しておく。</p> <p>◇排泄後の手洗いの大切さに気づかせていく。</p> <p>◇大便是、朝済ませてくるのが良いことを保護者にも知らせる。</p> <p>◇小学校では、休み時間を利用して排泄を済ませておくこと、大便をしたいときは我慢せずに声に出して知らせることなどを伝え、小学校生活に安心感を与えていく。</p>	



活動名	衣服の着脱をしよう	
ねらい	◎自分で着脱できるようになる。 ◎身だしなみを整えるようになる。	
環境構成	◆客観的に自分の姿が分かるように、鏡を準備する。 ◆着脱が分かりやすいように、絵表示などを掲示する。  ◆着替えの時間やスペースを確保する。	
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
○自分で着脱をする。  ○身に着けた衣服は、整っているかを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・下着が出ていないか。</li> <li>・裏返しや前後ろが逆になっていないか。</li> <li>・靴下は、きちんと履けているか。</li> </ul> ○登園したら、自分の持ち物の始末をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・決められたロッカーに片付ける。</li> <li>・上着や帽子などをフックにかける。</li> <li>・必要に応じて着替えをする。</li> </ul>	◇自分で着脱ができるように、脱ぎ方や着方について丁寧に知らせていく。  ◇客観的に自分の姿がわかるように、鏡に映して点検できるようにする。  ◇できた時は、大いに褒めたり、認めたりして自信をもてるようにする。  ◇持ち物の始末ができたかを確認する。できていないことがある時は、声掛けをしながら習慣づくようにしていく。 ◇衣服の汚れに気づいたり、気温などに合わせて調節したりできるように伝えていく。	



活動名	服のたたみ方・入れ方を確認しよう！	
ねらい	◎服のたたみ方や、しまい方について知る。 ◎表示や写真を見ながら、服のたたみ方を確認し、自分で意識するようになる。	
環境構成	◆着替え用かごや着替え袋への服の入れ方の良い見本と悪い見本を見せ、どのように服を入れておくべきか考えていけるようにする。  ◆服のたたみ方を表示し目で見て分かりやすいようにする。 (実物・写真など)	
幼児の活動		保育者の配慮・援助
○自分の着替え用かごや着替え袋を見してみる。  ○友達のかごや着替え袋を見比べ、どのように入っているか見てみる。 ・たたんで入れることに気づく。 ・裏返った服がないことに気づく。 ・服の上下、下着、靴下等、分かれて入っていることに気づく。  ○きれいにたたむ方法を確認する。 ・たたみ方の表を見たり、保育者のたたみ方の見本を見たりして、たたみ方を確認する。  ○実際に自分の着替え用の服を使ってたたんでみる。 ・たたみ方の表示を見たり、保育者のたたみ方の真似をしたりしながら一緒にたたんでみる。  ○かごや着替え袋に整理しながら、たたんだ服を入れてみる。  ※日常の着替えから  ※日常の生活から		◇どのように服が入っているのか、幼児の気づきを聞きながら、進めていく。  ◇たたみ方を表示し、目で見てわかりやすいようにする。  ◇保育者も実際にやって見せ、目で見て具体的にわかりやすいようにする。  ◇綺麗にたためた姿を認める声掛けをして自信につなげたり、自分もやってみようと思えるようにしたりする。  ◇どのように入れたら使いやすいか、幼児が自分の思いや考えを話したり、話し合ったりするなどして一緒に考えていく。 ◇パジャマに着替える、汚れた服を着替える、身体測定の時などたたみ方を意識できるようにしていく。 ◇遊びの中で、人形の服をたたむなどしてたたみ方を意識できるようにしていく。 ◇定期的に着替え用かごや、着替え袋と一緒にチェックする時間を設け、きれいに入っているか確認することで、きれいに入れる習慣が身に付くようにする。

(例として)


ふくの たたみかた



活 動 名	ロッカーの整理をしよう	
ね ら い	◎整理整頓の仕方を知る。 ◎ロッカーを整理すると気持ちが良いことに気付き、整理しようとする。	
環 境 構 成	◆物をきれいに整えて入れている写真と、物がきちんと入っていない写真を見せ、どちらが良いか考えられるようにする。 ◆写真や絵などで見本を表示して、物の置き場所が分かるようにしていく。 (カバンや帽子等の置き場所も含む。)	
	 <p style="text-align: center;">ロッカー</p>	 <p style="text-align: center;">道具箱</p>
幼 児 の 活 動	保 育 者 の 配 慮・援 助	
<p>○クラスでロッカーの使い方について話し合う。</p> <p>○自分のロッカーの中はどうなっているのか、持ち物を見直す。</p> <p>○自分のロッカーを整理して片付ける。</p>	<p>◇クラスの集まり時に、ロッカーの使い方について、みんなで考え合う機会を設ける。</p> <p>◇ロッカーの整理の仕方について幼児が気づいたことを受け止め、みんなで話し合えるよう仲立ちしていく。</p> <p>◇どんな入れ方なら、見やすく使いやすいか、また使った物を元に戻すことの大切さに気づけるように、一緒に考えていく。</p> <p>◇自分の持ち物がしっかりしまっているかなど、物の丁寧な始末の仕方にも気づけるように声掛けしていく。</p> <p>◇片付けたロッカーを見て、使いやすい、持ち物が分かりやすいことに気づけるよう声掛けし、気持ち良さを感じられるようにする。</p> <p>◇片付けを行った後も、日々整理する様子を見守り、必要に応じて声掛けを行っていく。</p>	
<p>※道具棚、おもちゃ棚、本棚などの整理をする。</p>	<p>◇みんなが使う共通の場所も、整理しようとする意識を高めていく。</p> <p>◇次に使う人のことも考え、整理して片付けようとする意識を高めていく。</p>	


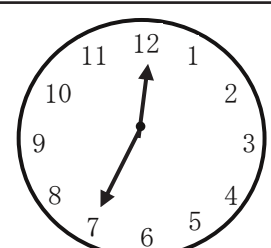
活動名	靴の履き方・脱ぎ方・揃え方	
ねらい	◎靴の正しい履き方, 脱ぎ方, 揃え方を知る。	
環境構成	<p>◆靴の置き方の表示を出しておく。                      ◆靴を取り出しやすい置き場を考えるようにする。                      ◆正しい靴の履き方, 脱ぎ方, 揃え方に気づけるような絵表示を用意する。                      (例, ○×クイズ形式で知らせるなど。)</p> <p>靴を揃える      どちらの履き方がいかな?      どちらの揃え方がいかな?</p> 	
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
<p>&lt;靴の履き方&gt;                      ○自分の靴を履く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・靴を静かに地面(床)に揃えて置く。</li> <li>・靴のかかとを指で押さえ, 足のかかとをしっかりと靴の中へ入れる。</li> <li>・両足きちんと履いてから歩き出す。</li> </ul> <p>○靴の履き方かどうかを見る。</p> <p>○かかとを踏んだり, 左右を履き間違えたりしてはいけないのはなぜかを考える。</p> <p>&lt;靴の揃え方&gt;</p> <p>○靴箱の靴がどうなっているか見に行く。</p> <p>○どういう置き方がふさわしいかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かかとを揃えて置くことに気づく。</li> </ul> <p>○靴箱の靴を整えてみる。</p> 	<p>◇かかとを踏まず, 正しく履いているかを確認する。</p> <p>◇左右の履き間違えがないか確かめる。</p> <p>◇立ちながら靴を履く意識がもてるようにする。</p> <p>◇かかとを踏んだり, 左右を履き間違えていたりすることがあったら, どうしたらよいかを考えていくようにし, 安全面に気づけるようにする。</p> <p>◇継続して正しく靴が履けているか確認していく。間違っている時は, 幼児に気づかせるような声掛けをする。</p> <p>◇外靴は, 脱ぐ時, 靴底に付いた土・砂などを払う事や, マジックテープをはがし, 脱ぎやすくしてから靴を脱ぐなど知らせる。</p> <p>◇自分の靴箱にきちんと入っているか, どうなっていたらきれいに見えるのかを, 考えられるように声掛けする。</p> <p>◇みんなと確認すると共に, 毎回揃えて靴箱に入れるよう意識できるようにする。</p>	

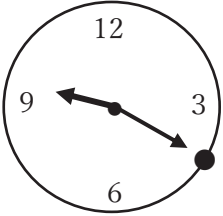






活動名	あいさつをしよう	
ねらい	◎気持ちの良い挨拶の仕方を知る。 ◎時間によって挨拶が変わることに気づく。	
環境構成	◆保育者と幼児一人一人が、顔を合わせることができるように対面に立つ。	
幼児の活動		保育者の配慮・援助
① 朝の挨拶をする。 「おはようございます。」  ② 今朝、この挨拶をどの場面でしたのか、考える。  ③ 基本的な挨拶の仕方を知る。    ④ 実際に友達同士で行ってみる。  ⑤ 他にはどんな挨拶があるのか考える。		◇しっかり一人一人の顔を見て、元気な声で挨拶をする。  ◇朝起きてから、家の人に挨拶をしたかを確認する。  ◇みんなで挨拶するだけでなく、個人対個人とするものでもあることに気づかせる。  ◇最初は保育者がやって見せる。  1. 正面を向いて 2. 止まって 3. 相手の顔を見て 4. 「おはようございます。」と言ってから腰から礼をする。  ◇一つ一つ確認しながらおこなうようにする。  ◇一日を通し、時間や場所、場合によって挨拶が変わることに気づかせる。(おはようございます、こんにちは、こんばんは、さようなら、おやすみなさい、いただきます、ごちそうさまなど)  ◇日常的に挨拶の習慣化を図っていく。

<p>活 動 名</p>	<p>箸を正しく持って使ってみよう</p>	
<p>ね ら い</p>	<p>◎箸の正しい持ち方や使い方を知る。</p>	
<p>環 境 構 成</p>	<p>◆箸の持ち方のイラストや、ポスターを掲示する。</p> <p>◆箸の持ち方の練習をしてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つかみやすいスポンジ、ひも、デコレーションボールなど柔らかい素材の物や、取り分けられる皿などを用意する。</li> <li>・持ち方が安定し、上手につかめるようになってきたら、豆やマカロニなど硬い素材の物を用意する。</li> </ul>	
	<p>幼 児 の 活 動</p>	<p>保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助</p>
<p>①正しく持つことの良さや手順の話を聞く。</p> <p>②箸を鉛筆のように握る要領で1本だけ持つ。</p> <p>③1本の箸を上下に動かしてみる。 (数字の「1」を書くイメージで)</p> <p>④慣れてきたら2本で持ってみる。 ・箸を動かしてみる。</p> <p>⑤箸を使っていろいろな物を器から器へ運ぶ。</p>		<p>◇箸を正しく持つときれいに食べられることを知らせる。</p> <p>◇箸の長さや細さに慣れていけるようまずは、1本で持つよう知らせる。</p> <p>◇箸を挟んでいる人差し指と中指を動かすなど具体的に知らせる。</p> <p>◇一人一人できているか確認し、保育者が手本を見せたり、間違っている時は手を添え直したりして感覚をつかめるようにする。</p> <p>◇箸でつかみやすいように柔らかな物から挑戦し、慣れたら豆のようなつかみにくい物にも挑戦できるようにする。</p> <p>◇途中で落としてしまう子には、親指、人差し指、中指で箸を持っているか、力の入り具合はどうか確認できるように声掛けする。</p> <p>◇家庭と連携して進めていけるよう保護者へ正しい箸の持ち方の手順やイラストを描いた便りを配布する。</p>

活 動 名	食事のマナーを覚えよう	
ね ら い	◎食事のマナーがわかり、楽しく食事をする。 ◎正しい姿勢で、落ち着いて食事をする。	
環 境 構 成	◆正しいご飯や汁物、副食の配置を提示しておく。 ◆正しい座り方のイラストや、食品三大栄養素のポスターなどを掲示しておく。 ◆食事中、テーブルが汚れたり食べ物を落とした時は、自分で拭いたり拾ったりできるように、テーブル拭きや雑巾を決まった場所に用意しておく。	
幼 児 の 活 動	保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助	
○食事のマナーや姿勢についてみんなで意見を出し合う。 ・挨拶をする。 ・大声を出したり、歌ったりしない。 ・立ち歩かない。 ・正しい姿勢や箸（スプーン）の持ち方、食器の配置を知る。 ○椅子の座り方や姿勢について見直す。 ・隣同士確認し合う。 ・鏡で自分の姿を見る。 ○正しく座ってみる。 ・椅子の奥深くに腰を下ろす。（ぎゅっ） ・足を床にくっつけておろす。（ペタ） ・背筋を伸ばす。（ピン） ・机との距離は、にぎりこぶし1～2個分 手は膝の上。 ○正しい箸の持ち方や姿勢、食べ方などを意識しながら食事をする。 ○食べ終わったら口の周りや手、テーブルなど汚れていないか確認し、きれいにする。	◇保育者同士で食事のマナーについて確認しあう。 ◇保育者同士で食事のマナーについて確認しておく。 ◇食事の時を振り返りながら、マナーについて知らせていく。 ◇言葉だけで知らせるのではなく、自分の目で姿勢を確認できる機会を設けていく。 ◇正しい姿勢で座ると、長時間座っても疲れないことを知らせる。 ◇一人一人の座り方を確認し、手を添えて直すなど働きかける。 ◇日頃から、背もたれのない椅子を活用したり、自分の体をしっかり支えたりする活動を行う。 ◇箸の持ち方、食器の扱い方、姿勢等、一人一人の様子について把握し丁寧に知らせていく。 ◇「いいにおいだね」「今日のご飯は何かな」など、幼児が食べたい言葉掛けをする。また、献立を掲示するなどして、食事への興味をもたせていく。 ◇マナーを守りながら食べることや、食事の準備から片付けまで清潔に整えることで、自分も周りの人も気持ち良いことを感じ取れるようにする。 ◇箸の持ち方、園で行っていることをイラスト入りの便りで伝え、家庭の協力をあおぐ。	

活動名	生活リズムを整えよう	
ねらい	◎生活の中で時間が分かり、生活リズムの大切さを知る。 (早寝・早起き・朝ごはん) ◎生活リズムを意識して、過ごせるようにする。	
環境構成	<p>◆早寝早起き朝ごはん(睡眠, 食事)の大切さを示す絵カードや絵本などを用意しておき、生活リズムを整えることの大切さに気づけるようにする。                      (就寝→起床→朝食…元気に過ごせる。)</p> <p>◆保護者とも生活リズムについて情報を共有し、園と家庭とが一緒に進めていけるようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">早寝早起き げんきいっぱい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">朝ごはんを食べる時間</div> </div>  	
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
<p>○絵カードや写真などを見ながら、「早寝早起き朝ごはん」の大切さを知る。                      (食事や睡眠をしっかりすることで、元気に生活できることを知る。)</p> <p>○起きる時間や寝る時間について考える。                      時計を見ながら、寝る時間や起きる時間などを確認し、意識する。</p> <p>○食事の大切さを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな食材が体に良いか考える。</li> <li>・朝ごはん(ごはん・味噌汁…)</li> <li>・昼ごはん(ごはん・野菜…)</li> <li>・夜ごはん(ごはん・肉…)</li> </ul> <p>○栄養のバランスを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主食, 主菜, 副菜をとる。</li> <li>・黄色(エネルギー) ごはん, パンなど。</li> <li>・赤(体をつくる) 卵, 肉, 魚, 牛乳 など。</li> <li>・緑(体の調子を整える) 野菜, 海藻, 果物など。</li> </ul> <p>○決まった時間に排便する。</p>	<p>◇絵カードや写真などを活用し、「早寝早起き朝ごはん」がしっかりできているか、どんな効果があるかなどを幼児と一緒に考えていく。</p> <p>◇十分な睡眠時間がなぜ必要なのかを知らせ、寝る時間や起きる時間を意識できるようにする。                      (睡眠や体を休養させることで元気を取り戻したり、身体の成長を促したりすることができる。)</p> <p>◇なぜ食事が大切なのかを知らせ、しっかり食事をとることや様々な食材を食べられるようにしていく。                      (朝ごはん) 1日の始まりで元気の素を作る。                      (昼ごはん) 午前中活動し、午後に向けての活力を得る。                      (夜ごはん) 1日の疲れを栄養で補い、次の日への活力となる。</p> <p>◇生活リズムが整えると排便がスムーズになることを知らせる。</p>	

活動名	時計をみて生活をしよう	
ねらい	◎生活の中で、めやすとなる時間に気づく。 ◎時計を見て、行動しようとする。	
環境構成	◆時の記念日等をきっかけにしたり、時計にまつわる絵本を用意したりし、時計や時間に興味をもてるようにする。 ◆針、秒針の動きなどで時間の流れが感じられるように、アナログ時計を準備する。  針がここまで来たらと見てわかるようにシール等貼っておく。 ◆園の生活の流れに沿った掲示物を用意し工夫して知らせ時間を意識して行動できるようにしていく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     きょうのよてい (スケジュール)                      ①たいそう      ②うたをうたう      ③そとであそぶ      ④きゅうしょく      </div>	
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
○時間、時計に関心をもつ。 ・時間、時計にまつわる話を聞く。 ・時計の制作をする。  ○1日は時間の流れに沿って過ぎていく事を知る。 ・時間にまつわるクイズを楽しむ。 (例：何時になったら、給食を食べるのでしょうか?)	◇時計にまつわる話などを通して、時計に興味をもてるよう工夫する。  ◇何時になれば、何をするという毎日のタイムスケジュールが理解できるようにしていく。  ◇幼児が時間の流れを感じながら生活できるように、保育中にも時計を見せながら時間を意識できるような言葉掛けをする。  ◇本当の時計の針と手作り時計の針が同じように示すようになるまでという意識がもてるよう、見比べながら活動できるようにする。	

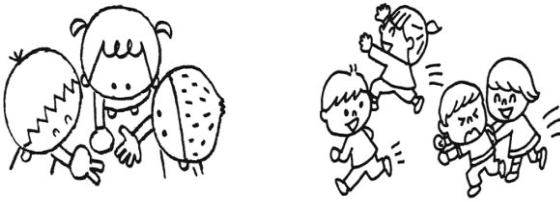



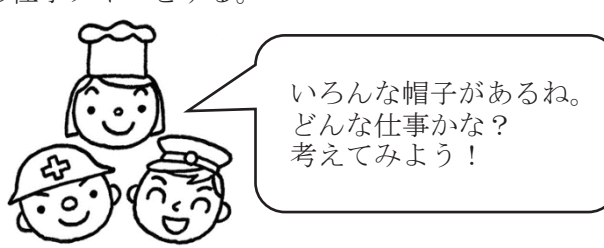
協同性 思考の芽生え 豊かな感性と表現  
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚  
言葉による伝え合い

活 動 名	指先を使って遊ぼう (折る・描く・ちぎる・つまむ・結ぶなど)	
ね ら い	◎指先を使った遊びに興味をもち、楽しく取り組む。 ◎繰り返し遊ぶ中で、器用に指先を使って遊ぶ。	
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆継続して遊びが楽しめるよう、毎日いくつかのコーナーを設定する。</li> <li>◆繰り返し指先を使った遊びができるように、時間や場所を保証する。</li> <li>◆幼児同士で楽しめるよう、作り方や遊び方を絵や文字で表示したり、全員で同じ経験ができるような時間を設けたりする。</li> <li>◆遊びに応じて材料を用意したり、テーブルやついたてなどを使用したり、集中して取り組める空間作りを工夫する。</li> </ul>	
幼 児 の 活 動	保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○折ってみよう (折り紙, 新聞紙など) <ul style="list-style-type: none"> <li>・折り紙の本や実際に折ったものを見ながら折る。</li> </ul> </li> <li>○描いてみよう (マーカー, クレパス, 色鉛筆, 絵具, など) <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな絵 ・経験画 ・塗り絵</li> </ul> </li> <li>○ちぎってみよう (紙, ガムテープなど) <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な厚さや硬さのものをちぎる。</li> </ul> </li> <li>○貼ってみよう (のり, ボンドなど) <ul style="list-style-type: none"> <li>・シール遊び ・指のり</li> </ul> </li> <li>○編んでみよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指編み ・三つ編み</li> </ul> </li> <li>○結んでみよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・りぼん ・靴ひも</li> </ul> </li> <li>○昔あそびをしよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あやとり (一人あやとり, 二人あやとり)</li> <li>・コマまわし (指でまわす, ひもでまわす)</li> <li>・ビーズあそび</li> <li>・お手玉</li> <li>・おはじき</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇幼児の様子に合わせて遊びのコーナーを作り、遊びが発展するように見守る。</li> <li>◇幼児の思いを組み取りながら遊びがマンネリ化しないよう内容を定期的に変えたり、幼児が興味をもって遊びを選択しながら遊んだりできるように、遊びの場を整えていくようにする。</li> <li>◇幼児の挑戦意欲が増すように、個人差に合わせた選択ができたり、少し頑張ればできたりするなど、満足感を味わえるものにしていく。</li> <li>◇保育者が楽しみながら遊んで見せ、興味を引き出したり、手本となったりする。</li> <li>◇指先を使った遊びについて保育者が柔軟な発想をもち、幼児の「やってみたい」気持ちを十分に受け止めていく。</li> </ul>	



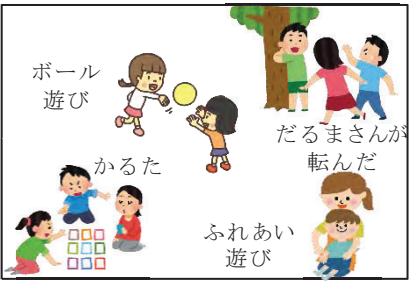
活 動 名	交通ルールを意識しよう	
ね ら い	◎交通ルールや約束が分かり、守ろうとする。 ◎道路にはどんな危険があるのかを知り、気を付けようという意識をもつ。	
環 境 構 成	◆交通ルールについて、分かりやすく楽しく学べるよう絵本や模擬信号、横断歩道など用意する。 ◆交通ルールや標識などにちなんだクイズ、ゲームなどで楽しく覚える機会を作っていく。 ◆園周辺の場所を示した地図を用意したり、交通ルールについて意識できるコースを選んだりし、実践的に学べるようにする。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○交通ルールや交通安全をテーマにした絵本や紙芝居をみる。 ○園周辺の地図を見る。 ○交通ルールや道路を歩く時の約束について考える。 ・道路での歩き方 ・信号の見方 ・横断歩道の渡り方 ・標識の意味を知る。 ○散歩や園外保育に行き、確認して歩く。 ○歩く時の約束やマナー、交通ルールをみんなで話し合う。 ○交通ルールクイズやゲームをする。		◇交通ルールや交通安全について絵本や紙芝居、イラストなどで分かりやすく知らせる。 ◇地図を見ながら、危険箇所や標識・点字ブロックなどについて、知らせたり考えさせたりする。 ◇交通ルールを守る必要があるのはなぜなのか、一緒に考えることで理解を深めたり、意識して行動したりできるようにする。 ◇保育者自身が手本となる行動をとるようにする。 ◇散歩や園外保育では、幼児と確認し合いながら出かけ、繰り返し約束やマナー、交通ルールについて伝えていく。 ◇交通ルールについて、友達と一緒に遊びながら、楽しく身につけられるような機会を設ける。





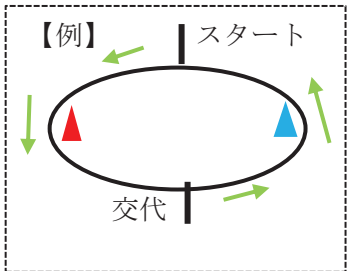

活動名	名人さん・名物を探そう	
ねらい	<p>◎地域に住む名人やその土地の名物を知る。</p> <p>◎園周辺に住む名人さんや名物が分かり、関わりをもとうとする。</p>	
環境構成	<p>◆年度初めに、職員間で園の散歩コースを実際に歩き、その地域の見所や危険個所の確認をしつつ、地域の人や名物等の情報を共有しておく。</p> <p>◆園周辺の地図を用意しておき、地域で見つけたものや興味のあるものを記入できるようにする。</p> <p>◆幼児と話し合いながら地域の地図を作成する。</p> <p>◆散歩で新たな発見があれば書き足していけるようにしていく。</p> <p>◆事前に地域の方と関係を作っておき、いつでも連絡が取れる環境を整えておく。</p>	
	幼児の活動	保育者の配慮・援助
<p>○散歩に行こう！（各季節）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然物探し</li> <li>・新しい道の探検</li> <li>・地域の名物探し</li> <li>・地域の方との関わり</li> </ul> <p>○話し合おう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩で見つけたもの</li> <li>・出会った人</li> <li>・どこで見つけたもの？</li> </ul> <p>○地図を作ろう！（季節の変化に応じて）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の周りには何がある？</li> <li>・誰と出会った？</li> <li>・絵を描く。</li> <li>・地図に貼ってみる。</li> <li>・みんなで地図を見合いながら振り返りをする。</li> </ul> <p>○もっと探そう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんに会いに行こう！教えてもらおう！</li> <li>・地域の名物をもっとみてみよう。</li> <li>・名物を使って作ってみよう。遊んでみよう。</li> </ul>		<p>◇幼児の発見や気づきに共感し、同じ気持ちで喜んだり驚いたりし楽しさを共有する。</p> <p>◇興味をもって欲しい事柄は、幼児の印象に残るような声かけや働きかけをする。</p> <p>◇どんな小さな気づきも逃さず受け止め、共感することで、進んで話をしたくなるような雰囲気作りを大事にする。</p> <p>◇発見したものを絵にすることが難しい時には、保育者が一緒に描いたり、イラストを準備しておいたりし対応する。</p> <p>◇地域の方と関わる時には事前に連絡を取り、必要な関わりができるようにする。</p> <p>◇名物を保育の中に取り入れる方法を先々に検討、予測しておき、幼児の意見を取り入れながら上手に活用していく。</p>


活動名	小学校ってどんなところ ①	
ねらい	◎小学校は、どのような場所で何をするところなのかを知る。 ◎小学生になることを楽しみにする。	
環境構成	◆小学校のイメージがもちやすいように、小学校に関する絵本を用意したり、写真を掲示したりして、興味をもてるようにする。 ◆小学生と交流する際は、学校生活や勉強、行事などについて話してもらうなど一緒に遊ぶ機会を設ける。 ◆交流をする日が分かるように、カレンダーなどに印をつけておく。 ◆招待状を書いたり、交流後の感想やお礼の手紙を届けたりできるよう必要な教材を用意しておく。 ◆幼児が選べるように様々な材料や道具を準備しておく。	
幼児の活動		保育者の配慮・援助
○小学校に関する絵本や写真を見ながら、話を聞く。 ○自分の園と小学校は、どう違うか想像しながら話し合ってみる。 ○ゲームやクイズ形式で遊ぶ。 ○仲良くなるために、ふれ合い遊びをする。 ○交流して楽しかったことを話し合う。 ○お礼の手紙や絵を描く。 		◇就学への思いにはまだ、個人差があることを踏まえ、小学校に対し楽しいイメージがもてるよう写真や絵本、イラストなどを用いながら共有できるようにする。 ◇交流する時は、学校の生活や勉強の様子、行事について教えてもらい興味をもてるようにする。 ◇幼児の気持ちに寄り添いながら、気づきや感想、意見などを聞き、丁寧に受け止めていく。 ◇実際に小学生の話を聞いたり、一緒に触れあったりすることで安心感をもち、楽しみにする気持ちがわくようにしていく。 ◇楽しかったことや、小学校についてわかったこと等を振り返り、次の交流や小学校へ行くことに期待が膨らむようにする。

活動名	ハロー！ワーク(ジョブ)	
ねらい	<p>◎いろいろな仕事があることを知り，興味をもつ。</p> <p>◎将来の夢について，考えてみようとする。</p>	
環境構成	<p>◆いろいろな仕事があることを，絵本やパネルシアターなどを活用し，知らせる。</p> <p>◆いろいろな仕事に興味をもてるように，仕事に関連した写真やイラスト，実物などを準備したり，掲示したりする。</p> <p>◆身近な地域の職場見学をさせてもらったり，仕事内容を教えてもらったりすることで，仕事への興味をもてるようにする。</p> 	
幼児の活動		保育者の配慮・援助
<p>○絵本やパネルシアターを見る。</p> <p>○どんな仕事があるのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな仕事があるか</li> <li>・家族の仕事について</li> <li>・大きくなったら何になりたいか など</li> </ul> <p>○仕事クイズをする。</p>  <p>いろんな帽子があるね。 どんな仕事かな？ 考えてみよう！</p>		<p>◇絵本を読んだり，パネルシアターを見せたりするときには，幼児の表情を見ながら，ゆったりと話をする。</p> <p>◇絵本やパネルシアターの後に幼児の声に耳を傾け，気づきに共感する。</p> <p>◇幼児から出た職業を書き出すことでいろいろな仕事があることを共有していく。</p> <p>◇仕事内容についても興味をもてるように，どんなことをするのか考えられる時間を設けていく。</p> <p>◇家族がどんな仕事をしているのか聞いてみるよう話をし，保護者にも家族の仕事についても話をしてもらえるように投げかける。</p> <p>◇仕事クイズなどをしていろいろな仕事に興味・関心がもてるようにしていく。</p>



活動名	地域の人と行ったり来たり (中学生・高校生・地域の人)	
ねらい	◎地域で生活をする人と交流をもち、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ◎地域の人に親しみをもち、喜んで関わろうとする。	
環境構成	◆地域の人 (中学生・高校生・地域の方など) に、名札を付けてもらう。 ◆広い場所に集まり、お互いの顔が見えるようにし、紹介をする。 ◆遊びのコーナーがどこにあるか、地図やイラストで分かりやすく場所を示す。 ◆遊びの説明の時には、実際に物や遊び方を見せてもらう。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>折り紙 絵本</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>塗り絵 お絵描き</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ボール遊び かるた だるまさんが転んだ ふれあい遊び</p>  </div> </div>	
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
○はじめの集まり ・地域の人と園児の自己紹介  ○集合ゲームをする。  ○好きなコーナーへ行き地域の人と、一緒に遊ぶ。  ○地域の人に親しみをもちながら、やりたい遊びを見つけて一緒に遊ぶ。  ○おわりの集まり ・一緒に遊んで楽しかった感想を振り返り、次回また遊ぶことに期待をもつ。 ・地域の人を見送る。	◇地域の人のお話に興味をもち、保育者も一緒に楽しく参加する。  ◇地域の人のお顔と名前がわかるように、簡単なゲームをすることで、場の雰囲気を和ませるようにする。  ◇保育者もコーナーにつき、遊びを見守る。なかなか遊びに入れない幼児には、保育者が仲立ちしたり声掛けをしたりする。  ◇自分の思いや要求を言葉で伝えられるよう援助する。  ◇楽しかったことを振り返り、地域の人に親しみがもてるようにする。	

<p>活 動 名</p>	<p>みんなであそぼう (1) リレーごっこをしよう</p>	
<p>ね ら い</p>	<p>◎リレーの楽しさを知り，力いっぱい走る。 ◎友達と話し合いながら，リレーごっこを楽しむ。</p>	
<p>環 境 構 成</p>	<p>◆ラインを引いたり三角コーンを置いたりして，走るコースが分かるようにする。</p> <p>◆バトンは受け渡しのしやすいものを用意する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">スティック型</div>  <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">リング型</div>  </div> <p>◆チームごとの目印になるものを準備する。 (カラー帽子・ビブスなど)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【例】</p>  </div>	
<p>幼 児 の 活 動</p>		<p>保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助</p>
<p>○チームに分かれる。</p> <p>○みんなで楽しめるリレーごっこを考える。</p> <p>○チーム内で作戦を立てる。  <span style="font-size: 2em;">[</span> 走る順番を決める。                  バトンの手渡し方を話し合う。                  など</p> <p>○リレーをする。</p> <p>○勝敗が決まる。</p> <p>○違うルールを考えてやってみる。</p> <p>○再度作戦を立ててリレーをする。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>		<p>◇走るのが速い子，遅い子が偏らないように配慮する。</p> <p>◇走るのに，苦手意識や支援の必要な子も楽しめるリレーになるように促す。</p> <p>◇話し合いの様子を見守り，できるだけ一人一人が意見を出し，話し合いに参加できるように援助する。</p> <p>◇保育者も一緒に応援しながら，チームの友達を応援できるように働きかける。</p> <p>◇喜んだり，悔しがったりする気持ちを受け止めながら，友達の気持ちに気づけるような声掛けをする。</p> <p>◇チームの中で，走る順番や早く走るための方法を話し合えるように援助していく。</p> <p>◇次回もより楽しくリレーごっこができるように，振り返りの時間をとるようにする。</p>

活 動 名	みんなであそぼう (2) わらべうたをしよう	
ね ら い	◎友達と繰り返し遊ぶ中で、わらべうたに親しむ。 ◎友達とふれあい、ルールを守りながら遊びを楽しむ。	
環 境 構 成	◆人形やペープサートなどを使い、保育者が歌って聞かせながら遊び方を伝える。 ◆歌詞を書いておくことで、見て確認できるようにする。 ◆ぶつからないように、広い場所で遊ぶようにする。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○いろいろなわらべうたを知る。 ・おちゃをのみにきてください ・なべなべ ・はないちもんめ ・ことしのぼたん など  ○遊びのルールや約束を知る。  ○繰り返し楽しんで遊ぶ。  ○先攻と後攻を決めて遊び始める。		◇歌のリズムに合わせて、保育者も一緒に体を動かして遊ぶようにする。  ◇手を繋いで遊ぶため、友達の手を引っ張ることのないよう約束をしておく。  ◇わらべあそびによって、動き方に違いがあることを知らせる。  ◇ルールが理解できない子や約束が守れない子には、保育者が寄り添い、一緒に楽しさが共感できるようにする。  ◇繰り返し遊んでいく中で、人数や遊び方など工夫していく。
		

人をつなぐ

協同性 豊かな感性と表現  
思考力の芽生え 言葉による伝え合い


( 後 期 )

活 動 名	発表会の準備をしよう	
ね ら い	◎友達と思いを伝え合いながら、発表会の準備をする。 ◎友達と協力しながら、一つのものを作り上げる楽しさを味わう。	
環 境 構 成	◆安心して自分の思いを話せる雰囲気をつくる。 ◆意見が出たことを、ホワイトボードにひらがなで記入していく。イメージが共有できるように、イラストも描いてより分かりやすく知らせる。 ◆幼児から出た意見を元に、材料の準備をする。筆や絵の具や新聞紙など、必要なものは事前に準備しておく。 ◆作り方が分かりやすく伝えられるように、実際に使う物を見せたり、イラストで手順を知らせたりする。 ◆制作活動は、友達と協力しながら行えるように、グループを作る。制作物に必要な物は、事前に準備しておく。 ◆十分な時間を確保し、じっくり取り組めるようにする。	
幼 児 の 活 動	保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助	
○発表会に必要な物は何か、クラスで話し合う。 ・イメージを出し合う。  ○みんなで大道具や小道具を作る。  ○完成した大道具を使って劇あそびをする。	◇発表会で必要な小道具, 大道具について幼児の意見を取り入れていく。 ◇自分達で作り上げる喜びを感じられるようにしていく。 ◇友達の意見も取り入れられるように話を進める。  ◇幼児同士で相談する時間を設けて、イメージが膨らむように促す。  ◇友達同士で一緒に同じものを作り上げる楽しさや, 面白さなどが味わえるように活動を進めていく。  ◇制作過程で出てきた考えや, 意見を幼児と相談しながら取り入れていく。  ◇作りながら新たに出た意見も取り入れていく。  ◇みんなで一つのものを作り上げる楽しさを味わいながら, 劇あそびを進めていく。	

人をつなぐ

社会生活との関わり 思考力の芽生え  
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚  
言葉による伝えあい

( 後 期 )

活 動 名	地域の人と一緒に昔遊びをしよう							
ね ら い	◎地域の人と触れ合って遊び、親しみをもつ。 ◎いろいろな昔遊びの面白さに気づき、喜んで遊ぶ。							
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆前日に各コーナーで使うものを準備し、設定する。</li> <li>◆それぞれの遊ぶものが取りやすいように、テーブルなどに並べておく。</li> <li>◆遊びのコーナーの部屋が分かるように、絵表示を付けておく。</li> <li>◆幼児が親しみやすいように、地域の人には名札を付けてもらう。</li> <li>◆ホールなど広い場所に集まり、昔遊びの紹介の時には、地域の人に遊びをして見せてもらう。</li> <li>◆各コーナーには保育者も必ずついて、楽しく遊べるよう安全に留意する。</li> <li>◆会にふさわしいBGMを流す。</li> <li>◆遊び場の表示 ・まり ・かるた ・長縄 ・羽子板 ・羽根 ・お手玉 ・あやとり ・こま類 ・ごご ・テーブル ・地域の人の名札 などを準備しておく。</li> </ul>							
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助						
<p>○はじめの集まり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人の紹介と昔遊びのコーナー紹介を聞く。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <table style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">こま回し</td> <td style="padding: 5px;">かるたとり</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">羽根つき</td> <td style="padding: 5px;">まりつき</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">お手玉</td> <td style="padding: 5px;">長縄跳び</td> </tr> </table> </div> </div> <p>○昔遊びのコーナーに行き、地域の人と一緒に遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひもごま、手回しごまの回し方を教えてもらう。</li> <li>・札を読んでもらい、かるたをする。</li> <li>・一緒に数を数えながら、羽根つきをする。</li> <li>・お手玉の遊び方を教えてもらう。</li> <li>・まりつきの歌に合わせて、まりをつく。</li> <li>・数を数えてもらいながら、長縄跳びをする。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>○終わりの集まり（振り返りをする。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人と一緒に遊んだ感想を話す。</li> <li>・昔遊びをして楽しかったことを話す。</li> <li>・遊びを覚えてもらったお礼を言う。</li> <li>・地域の人を見送る。</li> </ul>		こま回し	かるたとり	羽根つき	まりつき	お手玉	長縄跳び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人から昔遊びを教えてもらうことを伝え、期待が高まるような働きかけを行う。</li> <li>・早く遊びたい気持ちを汲んで、遊びと遊び場の紹介は手短にする。</li> <li>・伝統的な遊びの由来やあそび歌に興味や関心がもてるように、分かりやすく伝える。</li> <li>・いろいろな遊びに触れられるように、挑戦する意欲を盛り上げるような声掛けをおこなう。</li> <li>・各遊び場を回りながら遊びの様子を把握し、空いているコーナーを放送で知らせるなど、混雑を緩和してスムーズに遊べるように配慮する。</li> <li>・遊びを通して、文字や数などに興味や関心がもてるようにする。</li> <li>・コーナー担当の保育者は、地域の人と幼児が楽しく触れ合って遊べるように仲立ちしたり、遊びに入れないう子や迷っている子に対応したりする。</li> <li>・一緒に遊んで楽しかったことを振り返り、発表し合いながら地域の人へ尊敬の気持ちを持ち、親しみが増すようにする。</li> <li>・感謝の気持ちを伝え、今後の交流への期待がもてるようにする。</li> </ul>
こま回し	かるたとり							
羽根つき	まりつき							
お手玉	長縄跳び							



人をつなぐ

道徳・規範意識の芽生え 社会生活とのかかわり ( 後期 )  
言葉による伝えあい 数量や図形、標識や文字など  
への関心・感覚

活 動 名	小学校ってどんなところ②	
ね ら い	◎小学生や小学校の先生など様々な人と関わり，親しみをもつ。 ◎小学生との交流を通して，就学へ期待を膨らませる。	
環 境 構 成	◆同じ地域にある小学校に事前に連絡し，小学校訪問の事前打ち合わせをしておく。 ◆小学校から手紙や招待状などを準備してもらい，活動や遊びについて事前に期待を膨らませられるようにする。 ◆当日は，1年生との混合グループに分かれて活動をする。 ◆1年生が準備したコーナーに分かれて遊ぶ。 ◆グループの名簿，カラー帽子（当日），上靴（当日）を用意しておく。	
	幼 児 の 活 動	保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
	○1年生と一緒に遊ぶ。 ・1年生が作ったおもちゃで遊ぶ。  ○行事に参加させてもらう。	◇小学生と園児とのやり取りを見守る。 ◇小学校に興味をもっている気持ちに寄り添い，認めていく。  ◇安心してどの子ども遊びだせるよう，保育者が寄り添い不安等を取り除いていく。  ◇1年生の学習内容に興味をもてるような声掛けをする。


活 動 名	小学校ってどんなところ③	
ね ら い	◎小学校について知っている事を友達と話すことで、学校生活を楽しみにする。 ◎自分や友達が行く小学校を知り、入学への期待をもつ。	
環 境 構 成	◆小学校の写真や絵本などを準備しておく。 ◆学校ごっこができるような保育の準備を行う。 ◆小学校に散歩で出かけ、校舎や校庭を見たり、遊ぶ機会を設けたりし身近に感じられるようにする。 ◆小学校訪問を行う際には事前に連絡し、打ち合わせをしておく。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○小学校について興味をもつ。 ・絵本や写真を見る。 ・小学校はどんなところなのか、考えたり、話し合ったりする。 ・学校ごっこをする。  ○就学先の小学校について話を聞く。  ○小学校へ行く ・小学校に行き、校舎を眺めたり、校庭で遊ばせてもらったりする。 ・園バスやスクールバスなどで、就学先の小学校巡りをする。 ・交流のある小学校を訪問し、授業参観、学校探検をする。		◇小学校の写真や絵本を見せ、小学校に興味をもてるようにする。  ◇小学校のことをみんなで話をすることで、具体的なイメージをもち小学校生活を楽しみに思えるようにする。  ◇保育の中で学校ごっこなどを取り上げ、関心や期待がもてるようにする。  ◇幼児の就学先を知らせ、期待がもてるようにする。  ◇友達の就学先や一緒に行く友達を知り、安心できるようにする。  ◇散歩で学校方面に行くなど、身近に感じる機会を作っていく。  ◇授業参観や学校探検などで、どのような教室があるのか、どんなことをしているのかを見学させてもらい、小学校生活を楽しみに思えるようにする。



活動名	種をまこう 育てよう	
ねらい	◎植物の栽培を通して生長過程に関心を持ち、生命の不思議さに気づく。	
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆栽培についての図鑑や絵本を準備し、植物について興味をもてるようにする。</li> <li>◆グループを作り、話し合いを行いながら育てたい植物を決め、栽培できるようにしていく。</li> <li>◆幼児が選べるように様々な材料や道具を準備しておく。</li> <li>◆一人一人が種をじっくり見たり、触ったりして観察できるように、容器に入れて準備をする。</li> <li>◆自分が植えたところや他のクラスの子が分かるように、目印や看板を作る材料を準備しておく。</li> <li>◆それぞれの成長が見て分かるよう、絵を描いたり、写真を撮ったりし、継続して興味をもてるようにする。</li> </ul>	
	幼児の活動	保育者の配慮・援助
<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループを作り活動する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・何の植物を育てるかを決める。</li> <li>・種を観察する。</li> <li>・土づくりをする。</li> <li>・種まきをする。</li> <li>・水やりをする。</li> <li>・看板づくりをする。</li> <li>・成長の記録をとる。</li> </ul> </li> <li>○育てた植物を飾ったり、遊びに取り入れたりする。</li> <li>○種をとる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇絵本や図鑑を見たり幼児の思いを汲んだりしながら、数種類の種まきができるようにする。</li> <li>◇どんな土が良いのか、固さはどうか、水やりの頻度など幼児同士で話し合ったり、家庭にも投げかけたりしながら進めていく。</li> <li>◇幼児から出てくる言葉を受け止めて共感し、他児にも知らせていくようにする。</li> <li>◇植物が成長していく中で幼児が感じ取ったことや不思議に感じたこと、疑問に思ったことを全体に投げかけていき、自分たちで調べたり、周りの人に聞いたりできるよう配慮していく。</li> <li>◇成長した植物をどこに飾るか、またどんな遊びができるか、話し合う姿を見守っていく。</li> <li>◇成長の過程を一緒に振り返り、自然物により関心をもてるようにしていく。</li> </ul>


活 動 名	水に触れて遊ぼう	
ね ら い	◎水の感触を楽しんだり，冷たさや心地よさを感じたりしながら，幼児と一緒に水遊びを楽しむ。 ◎水の性質に気づくようになる。	
環 境 構 成	◆水温や気温・湿度に注意して行う。 ◆幼児が安全に遊べるように，水遊び周辺の安全面の確認を行う。 ◆水遊びが十分に楽しめるように，着替えの確認をしておく。 ◆使用する道具は種類ごとにカゴへ入れておき，取りやすいようにする。 ◆幼児が選べるように様々な材料や道具を準備しておく。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○水の感触遊び ・ビニール袋に入れる ・水風船で遊ぶ など  ○砂場で遊ぶ。 ・泥水遊び ・川作り ・ダム作り など  ○水鉄砲遊び  ○色水遊び ・ジュースやさんごっこ ・染紙 など  ○プール遊び ・波を起こしてみる ・浮かべて遊ぶ		◇水の苦手な幼児がいる事を踏まえ，無理なく水に触れて遊べるようにしていく。 ◇水の不思議な動きや性質に気づいたり，感触の心地よさを感じたりする幼児に共感していく。 また，その気づきやアイデアを認めながら幼児と一緒に伝えていく。  ◇幼児が遊びを進める中で，友達と役割を分担したり，協力したりできるように見守っていく。  ◇水に色が混ざりあう様子や，混色する楽しさに気づけるようにするなど，試してみようとする気持ちがもてるようにしていく。  ◇プール遊びでは，自分の動きと水の動きが連動する楽しさやダイナミックな遊びを経験させていくようにする。  ◇どのような素材が水に浮くのかなど，幼児と一緒に考えたり試したりしていく。


活動名	見つけよう！捕まえよう！飼ってみよう！	
ねらい	◎身近な自然や生き物に、親しみをもつ。 ◎飼育を通して、生命の尊さに気づき、大切にすゝる気持ちをもつ。	
環境構成	◆「なぜ？」「どうして？」を自分で調べたり、考えたりできるように、絵本や図鑑を準備する。 ◆飼育ケースなどは、幼児がいつでも変化に気づけるように、目につくところに設置する。 ◆飼育に必要なものは随時準備する。	
幼 児 の 活 動	保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助	
○身近な生き物を見つける。 ・ちょうちょう ・おたまじゃくし ・かえる ・バッタ ・かまきり ・クワガタ ・カブト虫 ・ザリガニ など  ○生き物を観察する。 ・図鑑や絵本で生態を調べる。 ・触れてみる。  ○生き物を飼う。 ・餌をやる ・飼育ケース等の掃除 } 当番活動で行う。  ○生き物を自然に返す。	◇園庭や散歩に行った先などで、身近な自然や生き物に関心をもてるようにしていく。  ◇飼うためには何が必要か、どんな約東が必要かなども事前に話し合うようにする。  ◇保育者は、見つけた生き物をと一緒に観察しながら、一人一人の気づきや驚きなどを受け止め、共感していく。  ◇飼育ケースは大きめのものを用意し、観察しやすいようにする。  ◇餌やりなどの生き物の世話は、保育者のみが行うのではなく、全員が同じ経験をできるように当番活動に取り入れる。  ◇幼児の飼ってみたい気持ちを大切にすゝるが、本来自然の中に生息するものであることにも気づかせ、自然の中に返すようにする。	

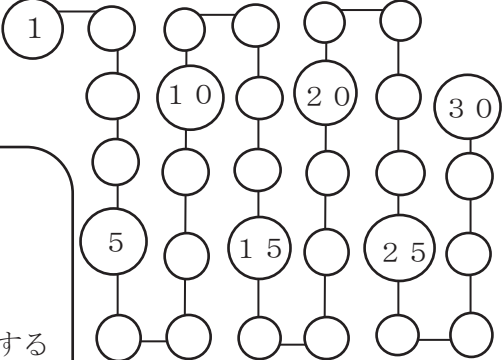



活動名	採ってみよう！遊んでみよう！食べてみよう！	
ねらい	◎畑やプランターの野菜に興味をもち、喜んで収穫する。 ◎収穫した野菜の形や色，感触の違いに気づく。 ◎自分たちで採った野菜を食べてみようとする。	
環境構成	◆野菜の収穫に必要なハサミ，カゴなどを用意しておく。 ◆野菜をスタンプに使用する分と食べる分に分けておく。 ◆画用紙，スタンプ台，絵の具などスタンプの材料を用意する。 ◆テーブルクロス，ランチョンマットなどを用意して，楽しい雰囲気の中で食べることができるようにする。	
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
○野菜の収穫をする。 ・ハサミで切ったり，直接手でもいざりしながら収穫する。 ・採れた野菜を観察する。  ○野菜スタンプをする。 ・切られた野菜に絵の具を付けてスタンプをする。  ○収穫した野菜を食べる。 ・調理したものを友達と一緒に食べる。 ・園で調理できない場合は家に持ち帰る。	◇安全に十分注意しながら，ハサミや手で収穫する方法を知らせる。 ◇色や形の違いなど，幼児の気づきや発見に共感していく。  ◇切った野菜の感触や，切り口の形の違いなど，幼児の発見に共感しながらスタンプが楽しめるようにしていく。  ◇自分で収穫した野菜を食べる事への喜びがもてるような声掛けなどをしていく。	
	◇幼児が感じたことや食べた感想などを聞き，楽しい雰囲気の中で食べることができるようにする。	

活 動 名	しりとりあそびをする	
ね ら い	◎いろいろな言葉に興味をもつ。 ◎いろいろなしりとり遊びがあることを知り、友達と一緒に楽しむ。	
環 境 構 成	◆言葉が浮かびやすいように絵カードを準備する。 ◆語尾の文字を丸で囲み、次の言葉を考えやすいようにする。 ◆初めのうちは、幼児と保育者が対面に座るが、慣れてきたら、幼児は円座に座る。	
幼 児 の 活 動	保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助	
○いろいろなしりとりあそびがあることを知る。 ・なんでもしりとり ・動物しりとり ・食べものしりとり など  ○しりとりのルールを確認しあう。 [ ・同じグループの物の名前を繋げていく。 ・答えが思い浮かばないときは「パス」ができる。 ]  ○しりとり遊びをする。  【例】(たべものしりとり)  (とまと) (とうもろこし) (しいたけ)  【例】(どうぶつしりとり)  (たぬき) (きつね) (ねこ)  ・クラスでの遊びだけでなく、友達同士で遊ぶ。	◇絵カードを見せながらしりとりあそびのルールを確認する。 ◇絵カードに文字を添え、文字への関心を高めていく。  ◇遊びの中で答えが出てこない時は、パスができる事を知らせたり、ヒントを出してあげたりしながら、安心して遊びに参加できるようにする。  ◇しりとりあそびの楽しさを共有し、いろいろな場面でも遊べるようにする。	

活 動 名	秋の自然物で遊ぼう	
ね ら い	◎自然物のいろいろな形や、色の面白さに気づく。 ◎自然物を使って、いろいろなものを作る楽しさを知る。	
環 境 構 成	◆園庭や園外保育で拾ってきた木の実、草の実、落ち葉、小枝などを分類して、箱などに入れておく。 ◆自然物を調べられるように、図鑑を置いておく。 ◆調べて分かった葉や実の名前を紙に書けるように紙やペンを用意しておく。 ◆カラーポリ袋、リボン、毛糸、両面テープ、ラピーテープ、セロハンテープ、ボンド、紙コップ、空き容器などの材料を用意する。 ◆幼児が遊びの中で、使いたい材料をその都度用意する。	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
○葉や木の実集めて遊ぶ。 ・拾ってきたものを分類する。 ・図鑑を見て調べる。  ○葉や木の実を使って、いろいろな物を作る。 ・葉っぱの服を作る。 ・楽器を作る。 ・装飾を作る。など  ○制作物をみんなで見合う。 ・着てみる。 ・鳴らしてみる。 ・飾ってみる。  		◇形の面白さや色の違いなど、幼児の気づきや発見に耳を傾けたり、調べたりしたことをみんなで共有していく。  ◇作り方や並べ方、貼り方など、工夫している所を具体的に認め、意欲を高めていくようにする。  ◇悩んでいる幼児には、アイデアがわくように思いを引き出していく。  ◇制作物を見せ合うために、どうしたらよいか相談して具体的に決めていく。  ◇作品を見合う場面を作り、お互いの作品を認め合うようにする。  ◇見ている幼児に、どうだったか感想を聞いたり、これからどんなふうにして遊んでいくか考えたりする。

活動名	郵便ごっこをしよう	
ねらい	◎文字や数字への興味関心を深め、書くことを楽しむ。 ◎手紙をもらうことや、返事を書くなどやりとりを楽しむ。	
環境構成	◆はがきや切手を十分に用意しておく。 ◆書き方の見本を用意し、見やすい場所に掲示しておく。 ◆色鉛筆やクーピーなどを準備しておき、自由に書くことを楽しめるようにする。 ◆郵便バッグを用意し、郵便の係に楽しみがもてるようにする。 ◆あいうえお表を見やすい場所に貼っておき、活動後も見ながら書けるようにする。 ◆文字や数字のスタンプも準備する。	
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
〈1枚目〉 ○郵便屋さんごっこについての話を聞く。 (はがきや手紙に関する絵本を見る。) ○遊び方を知る。 ①宛名を書く。 ②宛先を書く。 ③自分の名前を書く。 ④裏面は、相手への手紙や絵を描く。 ⑤切手を貼る。 ※郵便番号が書ける子は書く。 ○表、裏面を確かめて、ポストに入れる。 ○交代で郵便屋さんになり、ポストから回収し、消印(ハンコ)を押す。 ○配達する。 〈2枚目から〉 ・自分の送りたい相手に(お家の人や先生、他のクラスの友達もOK。)手紙を書く。	◇手紙をもらったから、自分も書いてみようとする気持ちをもてるようにする。 ◇手紙をみんながもらえるように配慮する。 ◇はがきの書き方やはがきを送るために必要な手順を知らせる。 ◇あいうえお表を各テーブルに置いておき、見ながら字が書けるようにする。 ◇字が書けない幼児には、保育者が薄く書いてなぞれるようにしたりスタンプを利用したりできるようにする。 ◇最初は全員に手紙が渡るように、もらった嬉しさや書く楽しさを感じられるようにする。2枚目以降は、好きな友達に自由に書けるようにする。 ◇他のクラスに届けやすいように、クラスごとの郵便番号を幼児と話し合っ決めて。 	

活動名	すごろく遊びをしよう	
ねらい	◎友達と一緒にすごろく遊びを楽しむ。 ◎数字や数への関心をもつ。	
環境構成	◆必要なものを用意する。 サイコロ すごろくの紙 自分用のコマ マーカー・鉛筆・のりなど  <b>【指示の例】</b> ⑤犬の鳴き声を5回する ⑩手を10回たたく ⑮歌を1曲歌う ⑳片足ケンケン20回する ㉕保育者とじゃんけんを勝つまでする ⑳「やったー！」と言い万歳をするなど	すごろくの例 
幼児の活動	保育者の配慮・援助	
○すごろく遊びについての話を聞く。 ○友達と一緒にすごろく遊びをする。 ・すごろくの数字に止まった時に行う指示を話し合って決める。 (例) ⑩の所に止まった時は手を10回たたくなど ○すごろくをテーブルや床に広げて遊ぶ。 ・グループ内で順番を決める。 (A, B, C, D, E…で) <b>ルール</b> ○4, 5人のグループを作り遊ぶ。 ①Aがサイコロを振る。出た目だけ自分のコマを前に進ませる。 ②コマが止まったところに数字があったときは事前に決めておいた指示をおこなう。 ③次にBが①と同じようにおこなう。 ④順番におこなっていく。 ⑤最後の数字で止まった子から上がりになる。 *慣れてきたら、人数を増やしても良い。	◇すごろく遊びに興味や関心がもてるように、実際にいろいろなすごろくを見せながら話をする。 ◇幼児の姿に合わせて、すごろくの内容やルールなどを設定する。 ◇友達と相談しながら、すごろく遊びを進めていけるようにしていく。 ◇早く上がった幼児には、みんなが上がるまで応援したり、見ていたりするよう声掛けをする。 	



活 動 名	自分の名前を書いてみよう	
ね ら い	<p>◎文字に興味をもつ。</p> <p>◎自分の名前に関心をもち、書いてみようとする。</p>	
環 境 構 成	<p>◆文字に関心がもてるように、保育室に「50音表」などの掲示をしておく。</p> <p>◆鉛筆は握りやすい太さ、濃い芯のものを用意する。</p> <p>◆鉛筆は、指の位置が分かるように、シール等でのマーキングや持ち方を誘導する用具を準備しておく。</p> <p>◆運筆の練習用紙やあいうえおカードを準備する。…①</p> <p>◆見本を見て書けるように、個人の名前カードを用意する。…②</p> <p>◆必要なものを準備する。(消しゴム、鉛筆削り、用紙、塗り絵)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="432 804 834 1111"> <p>①</p> </div> <div data-bbox="858 804 1142 1111"> <p>②</p> </div> </div>	
幼 児 の 活 動		保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助
<p>○文字に興味をもつ。</p> <p>○鉛筆の持ち方を意識する。</p> <p>○手首を動かし線を描く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆で線を描く。</li> <li>・塗り絵を塗る。</li> </ul> <p>○自分の名前をカードの中から選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指でなぞる。</li> </ul> <p>○見本を見ながら書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぞり書きをする。</li> <li>・見本を見て書く。</li> </ul>		<p>◇保育室内で、文字に触れる場面を増やしていくようにする。(掲示物・かるたなど)</p> <p>◇興味をもった時に、いつでも書けるように幼児の手の届く場所に用意しておく。</p> <p>◇手首を柔らかく動かし、運筆ができるように、用紙の量を確保する。</p> <p>◇筆圧を付けられるように塗り絵なども活用していく。</p> <p>◇指などでなぞって遊べるように、文字カードは大きめにする。</p> <p>◇幼児の状態に合わせて、点線の文字をなぞりながら書いたり、見本を見て書いたりできるようにする。</p> <p>◇書けた！という喜びを大切に受け止め、自分の名前を喜んで書けるようにしていく。</p>

活 動 名	学校ごっこをしよう											
ね ら い	◎自分が行く小学校がわかり、1年生になることを楽しみにする。											
環 境 構 成	<p>◆入学する小学校の写真や地図などを掲示することで、自分の通う小学校がわかり、身近に感じられるような環境を作る。</p> <p>◆ランドセルや教科書、机、時間割、献立表などを置いたり掲示したりして、1年生コーナーを作る。</p> <p>◆1年生コーナーはどの子も自由に見たり、触れたりできるようにする。</p> <p>◆時間割のように次の活動が分かるよう活動内容を提示する。</p> <p>(例)</p> <table border="1" data-bbox="577 801 1225 1102"> <tbody> <tr> <td>1じかんめ 9:30~10:15</td> <td>うんどうあそび</td> </tr> <tr> <td colspan="2">—やすみじかん—</td> </tr> <tr> <td>2じかんめ 10:25~11:10</td> <td>うたをうたう</td> </tr> <tr> <td colspan="2">—やすみじかん—</td> </tr> <tr> <td>ひるごはん 11:20~</td> <td>べんとう・きゅうしょく</td> </tr> </tbody> </table>		1じかんめ 9:30~10:15	うんどうあそび	—やすみじかん—		2じかんめ 10:25~11:10	うたをうたう	—やすみじかん—		ひるごはん 11:20~	べんとう・きゅうしょく
1じかんめ 9:30~10:15	うんどうあそび											
—やすみじかん—												
2じかんめ 10:25~11:10	うたをうたう											
—やすみじかん—												
ひるごはん 11:20~	べんとう・きゅうしょく											
幼 児 の 活 動	保 育 者 の 配 慮 ・ 援 助											
<p>○自分の行く小学校を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の入学する小学校の地図や写真を見る。</li> </ul> <p>○1年生コーナーで遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドセルに教科書や筆記用具を入れ、実際に背負ってみる。</li> <li>・学校で使う道具や材料に触れる。</li> <li>・先生や生徒役になって遊ぶ。</li> </ul> <p>○時間割があることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間目、2時間目、休み時間など、学校には時間割がある事が分かる。</li> <li>・お弁当や給食を食べる時間を意識する。</li> <li>・いただきます、ごちそうさまの時間を意識して時計を見ながら食べようとする。</li> </ul>	<p>◇入学する小学校や一緒に行く友達が分かることで、安心できるようにする。また、一人しかいない幼児には新しい友達がこれからできることを知らせていく。</p> <p>◇小学校生活がイメージできるよう、絵本、写真などを活用しながら、コーナー遊びを楽しめるようにする。</p> <p>◇ごっこ遊びをしたり、ランドセルや教科書など、小学生になったら使用する物に触れたりすることで、学校を楽しみにする気持ちを膨らませていく。</p> <p>◇学校と同じように、活動内容や休み時間は自分の好きなことをしたり、トイレに行ったりして良いことなどを知らせる。</p> <p>◇食べ始めや食べ終える時間が分かるように、時計の数字に印をつけ意識できるようにする。</p>											

# スタート カリキュラム



# 週案タイプ モデルプラン

第1週 令和5年4月10日(月)～4月14日(金)

【今週のねらい】 『はじめまして 学校』 1年生になったことを喜び、楽しく過ごすことができるようにする。		10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)
行事等			入学式	幼保で歌った歌や手遊びで一日をスタート		
1				音楽 手遊びをしよう うたっておどってなかよくなるろう	音楽 手遊びをしよう うたっておどってなかよくなるろう	音楽 手遊びをしよう うたっておどってなかよくなるろう
2	<p>時数のカウントの目安として時間を区切っているが、授業時間の区切りで活動を区切らずに、子供たちの思いを拾い上げながらなめらかに活動をつないでいくようにする。</p> <p>例えば… (12日)先生と一緒に学校の中を歩きながら、その場所の使い方を覚えていく。 (13日)言葉のリズムを楽しんだ後で「友達の名前を知りたいな」「名前を教え合おう」「名前を書いてみよう」「好きなものの絵も描いて教えてほしいな」と子供の思いをつないでいく。</p>		学活 元気な返事やあいさつ 学習道具の出し入れ プリントのもらい方	国語 さあはじめよう 体を動かして言葉のリズムを楽しもう	国語 さあはじめよう 体を動かして言葉のリズムを楽しもう	道徳 ようこそ1年生 楽しみなことを話そう
3		学活 1年生になったよ トイレ・靴箱・ロッカーの使い方	国語 さあはじめよう 体を動かして言葉のリズムを楽しもう よろしくね 名前を書いてみよう 名前を教え合おう	道徳 ようこそ1年生 楽しみなことを話そう	体育 体操服に着替えよう 脱いだ服をたたもう	
4		生活 がっこうのことが知りたいな 学校の一日を知ろう 先生と学校の中を歩いてみよう	図工 すきなもののいっぱい すきなものの絵を描いて名札をつくろう	体育 校庭で遊ぼう ならびっこ 遊具遊び	生活 作った名札を見せ合って名前を教え合おう	生活 校庭を探検しよう
5			生活 がっこうにいこう 登下校時のあいさつ・交通安全のルール	生活 がっこうにいこう 登下校時のあいさつ・交通安全のルール	道徳 あいさつ 登下校時のあいさつ・交通安全のルール	
配当 時数			学活 帰りの用意の仕方・コースごとに整列・下校指導	学活 帰りの用意の仕方・コースごとに整列・下校指導	学活 帰りの用意の仕方・コースごとに整列・下校指導	
			生活1. 5 音楽0. 5 学活2	生活1 音楽0. 5 学活0. 5 国語1. 5 図工0. 5	生活0. 5 音楽0. 5 学活0. 5 国語0. 5	道徳1 体育1
<p>【幼保からのつながりを意識した授業のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科を中心に合科的・関連的な指導を行う。</li> <li>○時間の枠で区切っているが、実際の活動では子供たちの思いを拾い上げながらなめらかに活動をつないでいくようにする。</li> <li>○子供たちが園で経験したことを話し、伝え合いながら活動を広げていくようにする。</li> <li>○1時間目の音楽では幼稚園や保育園で歌った歌や手遊びを取り入れ、安心して学校生活の一日のスタートが切れるようにする。</li> <li>○複数学級がある学校では、1時間目の音楽を学年全体での活動として設定することで、友達づくりに対する不安を解消するとともに、担任だけでなくたくさんの先生が見守っていくことを伝え安心させる。(特別支援担当、7学年、支援員も1時間目の活動に加わるようにする)</li> <li>○入学式の翌日は、子供たちは不安でいっぱいである。「学校は楽しい」「学校は安全」と思えるような活動を工夫する。</li> <li>○1年生はゼロからのスタートではない。幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を踏まえた指導を工夫する。</li> <li>○教室に絵本のコーナーや自由遊びのスペースを作り、新しい環境の中でも落ち着いて過ごすことができるようにする。</li> </ul>						



『ともだちつくろう』 【今週のねらい】 学校で友達と楽しく過ごすことやみんなと一緒に活動することに興味をもち、みんなで楽しく学習に取り組んだり遊んだりするようになる。					
	17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)
行事等	交通安全教室	幼保で歌った歌や手遊びで一日をスタート		1年生を迎える会	身体計測
1	音楽 手遊びをしよう <small>うたっておどってなかよくなるう</small> 道徳 じゅぎょうがはじまりますよ	音楽 手遊びをしよう <small>うたっておどってなかよくなるう</small> 国語 さあはじめよう 身体を動かして言葉のリズムを楽しもう	音楽 手遊びをしよう <small>うたっておどってなかよくなるう</small> 国語 さあはじめよう 体を動かして言葉のリズムを楽しもう	音楽 手遊びをしよう <small>うたっておどってなかよくなるう</small> 国語 ひとつつながることば 人と関わる時に大切な言葉を使ってみよう	音楽 手遊びをしよう <small>うたっておどってなかよくなるう</small> 体育 身体計測のことを知ろう 着替えよう
2	国語 こえをとどけよう 声の大きさはどのくらいがいいかな 「よろしくね」で知った友達の名前を呼んだり、返事をしたりして遊ぼう	生活 がっこうのことがしたいな 校舎内を先生と歩いて回り、教室の場所や用具の使い方を知ろう	国語 えんぴつをつかうときにたしかめよう 鉛筆の持ち方、書く姿勢、手の置き方に気を付けて書こう	図工 おひさまにここにあったらいいなと思うお日様を思い浮かべ自由に描いてみよう	行事 身体計測
3	行事 交通安全教室 安全な道路の歩き方を練習しよう	算数 くらべたことがあるかな おおいのはどちらかな 幼稚園・保育園でしたことや見たことから数の多少を比べてみよう	生活 みんなとなかよくなりたいたいな 校庭でしてみたいことを話し合い、校庭に遊びに行こう	児童会 1年生を迎える会 1年生を迎える会に参加し、お兄さんやお姉さんと楽しく遊んだり歌ったりしよう	体育 体育館で遊ぼう ならびっこ 仲間づくり遊び おにごっこ 着替え
4	学活 給食の準備 楽しく食事 後片付けの仕方	学活 給食の準備 楽しく食事 後片付けの仕方	国語 よろしくね 1年生を迎える会の練習  学活 給食の準備 後片付けの仕方	国語 ひとつつながることば 1年生を迎える会で楽しかったことを話そう  学活 給食の準備・後片付けの仕方 掃除の仕方	国語 ひとつつながることば 今週の楽しかったことを話そう  道徳 あいさつ
5					
配当 時数	音楽0.5 道徳0.5 国語1 行事1 学活1	音楽0.5 国語0.5 生活1 算数1 学活1	音楽0.5 国語2 生活1 学活0.5	音楽0.5 国語1 図工1 児童会1 学活0.5	音楽0.5 体育1.5 行事1 国語0.5 道徳0.5
<p>【幼保からのつながりを意識した授業のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科を中心に合科的・関連的な指導を行う。</li> <li>○第2週も1時間目に音楽を設定している。幼稚園や保育園で歌った歌や手遊びを取り入れたり、一日の始まり方を同じにしたりすることで安心できるようにする。</li> <li>○1時間目の音楽の時間を使って、幼稚園や保育園で歌った「1年生マーチ」を歌い、1年生を迎える会で発表することもできる。</li> <li>○複数学級ある学校では、この週の1時間目も学年合同にすることで、現在の学級の友達に慣れるまで、幼稚園・保育園の友達と顔を合わせ、一緒に遊べるという安心感を持たせるようにする。</li> </ul>					





『がっこう だいすき』 【今週のねらい】 小学校の生活に慣れ、教科等の学習を楽しみにしながら生活を送ることができるようになる。					
	22日（土）	25日（火）	26日（水）	27日（木）	28日（金）
行事等	学習参観		避難訓練		
1	音楽 手遊びをしよう うたっておどってなかよくなるよう ----- 国語 ひととつながることば 人と関わる時に大切な言葉を使ってみよう	音楽□ はくをかんじとろう 音楽に合わせて体を動かそう 「たんたんたんうん」のリズムを打とう	国語 あいうえおのうた 語のまとまりや口形に気を付けて音読する ----- 学活 避難訓練 命を守ろう	音楽 はくをかんじとろう 音楽に合わせて体を動かそう 「たんたんたんうん」のリズムを打とう	国語 あいうえおのうた 語のまとまりや口形に気を付けて音読する
2	算数 なかまづくりとかずたりるかな 数の多少を線で結んで比較する ブロックを用いて比較する	算数 なかまづくりとかずおなじかずのなかまをさがそう 1～5の数字を覚えよう 1 2 3 4 5の数詞を対応させる	学校行事 避難訓練 不審者対応避難訓練	体育 校庭で遊ぼう ならびっこ 遊具遊び おにごっこ	算数 なかまづくりとかずいくつといくつ 5の構成を理解する
3	(参観)国語 かいてみよう 簡単な平仮名「つ」「く」「し」「へ」「い」「こ」を書く 6字を組み合わせてできる言葉を探して書く	体育 校庭で遊ぼう ならびっこ 遊具遊び おにごっこ	学活 避難訓練で学んだことを振り返ろう ----- 国語 あいうえおのうた 語のまとまりや口形に気を付けて音読する	生活 みんなとなかよくなりたいな 校庭から校舎を見上げ、どこに何年生の教室があるのか話し合い、お兄さんお姉さんの教室を見に行こう	図工 すなやつちとなかよし 砂や土の感触を十分に味わいながら思い付いたことを試してみる
4		生活 みんなとなかよくなりたいな 校庭探検で見つけたものを伝え合い、見つけたものや遊んだものを描く	道徳 がっこうにはね日頃自分たちの学校生活を支えてくれたり、助けたりしている人々に感謝する。自分ができることをしようとする心情を育てる	算数 なかまづくりとかずおなじかずのなかまをさがそう 1～5の数について、具体物、半具体物、数図、数字、数詞を相互に関連付ける	図工 すなやつちとなかよし 砂や土の感触を十分に味わいながら思い付いたことを試してみる
5					
配当 時数	音楽0.5 国語1.5 算数1	音楽1 算数1 体育1 生活1	国語1 学活1 行事1 道徳1	音楽1 体育1 生活1 算数1	国語1 算数1 図工2
【幼保からのつながりを意識した授業のポイント】 ○生活科を中心に合科的・関連的な指導を行う。 ○子供たちが、徐々に1単位時間（45分間）の活動の区切りに慣れていくように授業を組み立てるようになる。 ○第3週からは、各学級ごとに1時間目の学習を行うようになるが、第2週までの1時間目の活動で取り組んできた活動を取り入れ、安心して一日を始められるようになる。					



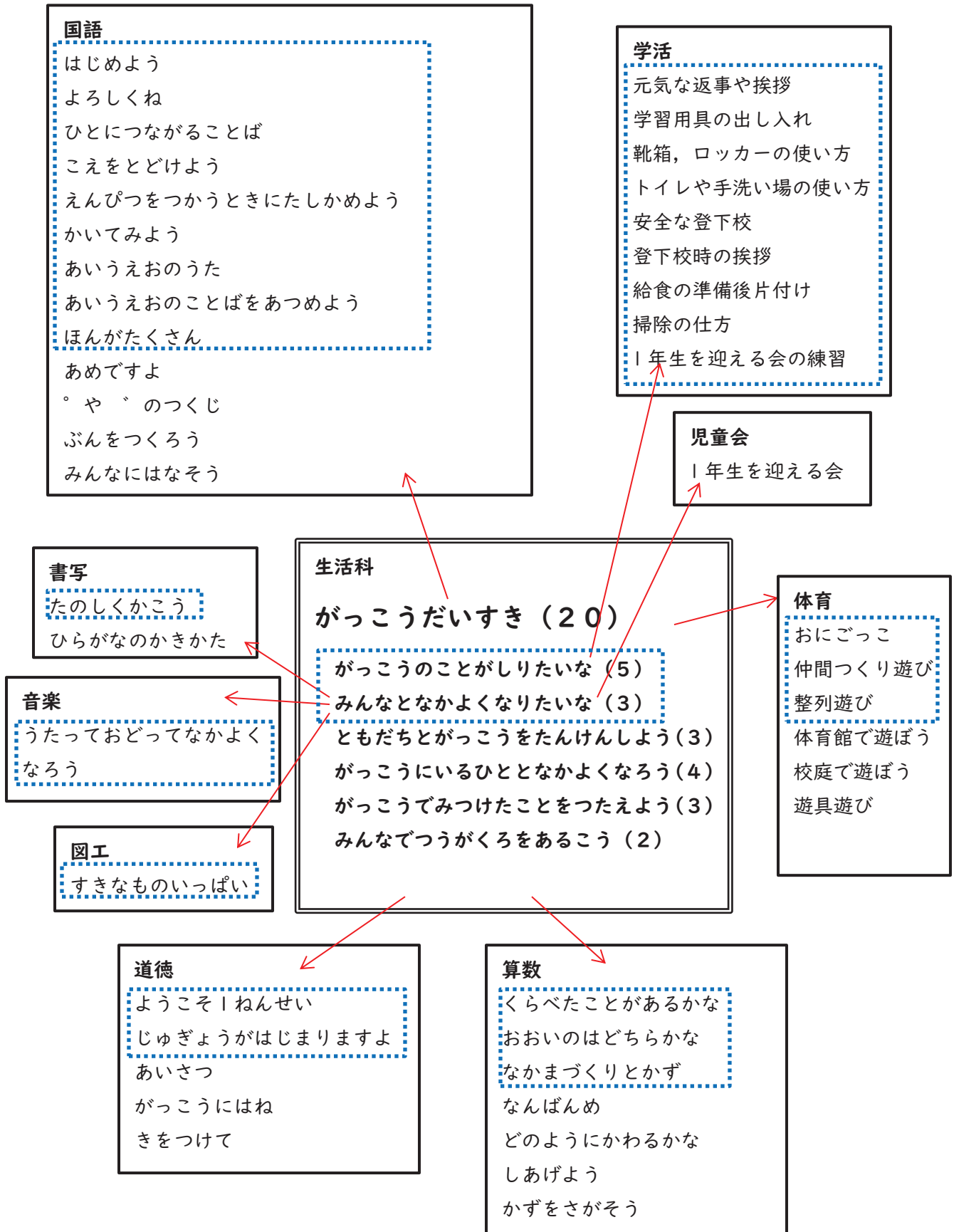
第4週 令和5年5月1日（月）～5月5日（金）

【今週のねらい】		『すすんでがんばろう』 学校の生活リズムが少しずつ身に付き、当番活動にも意欲的に取り組むことができるようにする。				
		5月1日（月）	2日（火）	3日（水）	4日（木）	5日（金）
行事等				憲法記念日	みどりの日	こどもの日
1	音楽 はくをかんとろう 「たんたんたんうん」 のリズムで遊ぼう。 歌に合わせてリズムを 打とう	国語 あいうえおのことば をあつめよう 音節と文字との関係に 気付き「あいうえお」 の付く言葉を身の回り から集める				
2	算数 おなじかずのなかま をさがそう 数量の大きさを表す 「ろく」「しち」の数 詞と「6」「7」の数 字が対応していること を知る	算数 おなじかずのなかま をさがそう 6～10の数について 具体物、半具体物、数 図、数字、数詞を相互 に関連付ける				
3	生活 がっこうだいすき ともだちとがっこう をたんけんしよう みんなで行った場所 を思い出し、もう一 度行きたい場所を話 し合う	体育 校庭で遊ぼう ならびっこ 遊具遊び おにごっこ				
4	国語 あいうえおのことば をあつめよう 音節と文字との関係に 気付き「あいうえお」 の付く言葉を身の回り から集める	生活 がっこうだいすき ともだちとがっこう をたんけんしよう みんなで行った場所を 思い出し、もう一度行 きたい場所に班ごと に行ってみよう				
5						
配当 時数	音楽 1 算数 1 生活 1 国語 1	国語 1 算数 1 体育 1 生活 1				
<p>【幼保からのつながりを意識した授業のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科を中心に合科的・関連的な指導を行う。</li> <li>○第4週は、1単位時間（45分）の授業を行うが、変化のある繰り返しなどで子供たちが意欲を持続できる工夫をする。</li> <li>○連休明けの授業に期待を持たせるように、学習内容を工夫する。</li> <li>○連休明けの第5週も子供たちの様子を見ながら、1時間目はいつもの歌やリズム遊び、読み聞かせなどで安心してスタートできるようにする。</li> </ul>						



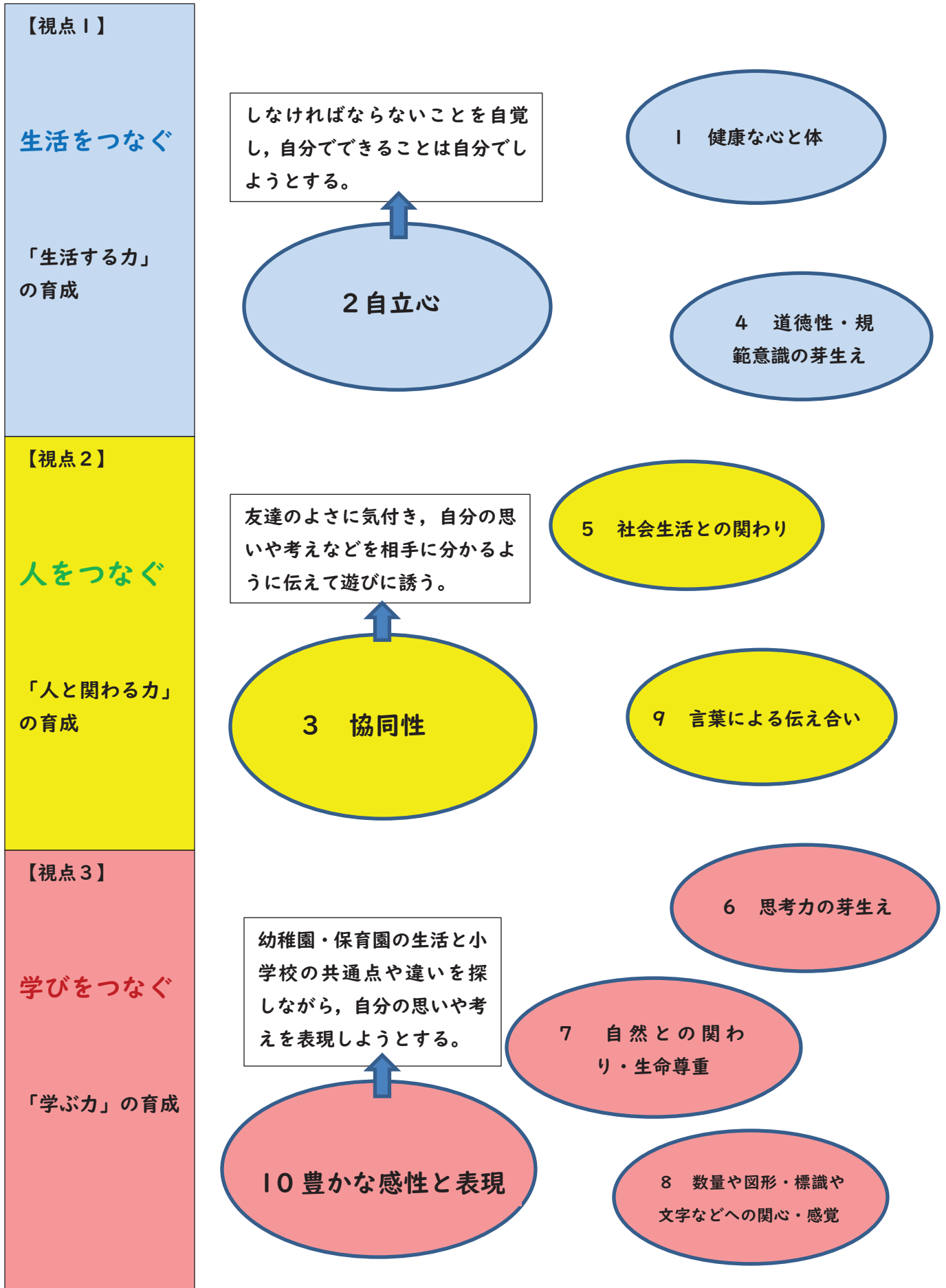
# 生活科 単元デザイン 4～5月

\*体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ、発展していくように、意図をもって環境構成をしたり、単元間や教科間を関連付けたりする。



生活科 8時間と合科的に扱う部分

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながり



# 生活科 単元デザイン 5～9月

\*体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ、発展していくように、意図をもって環境構成をしたり、単元間や教科間を関連付けたりする。

## 国語

5月

「や」のつくじ                  ぶんをつくろう  
みんなに はなそう              「は」をつかおう  
「を」「へ」をつかおう

6月

こんなことしたよ

7月

おおきなかぶ      かぞえうた  
えにつきを かこう

9月

はなしたいな ききたいな

## 書写

8月

につきをかこう

## 生活科

### きれいにさいてね (8)

5～6月

たねをまこう (2)  
せわをしよう (1)  
はなのようすをつたえよう (2)

10月

たねをとろう (3)  
あきにもそだてよう (外)

## 生活科

なつがやってきた  
水であそぼう

## 図工

5月

すなやつちとなかよし

## 道徳

7月

ぼくの あさがお

## 算数

5月

かずをさがそう

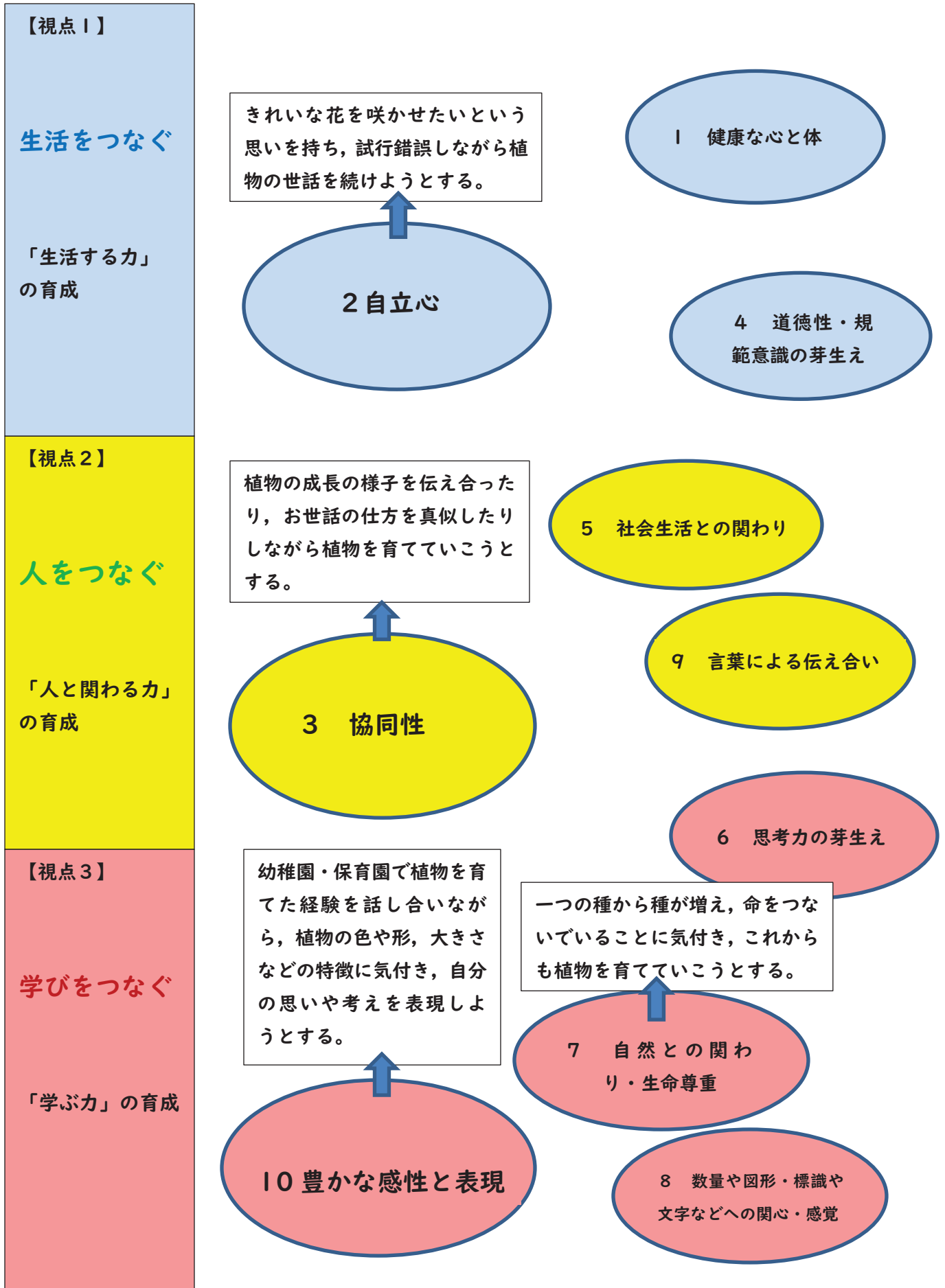
9月

わかりやすく せいりしよう  
10より 大きいかず

新しい1年生に種をプレゼントしよう

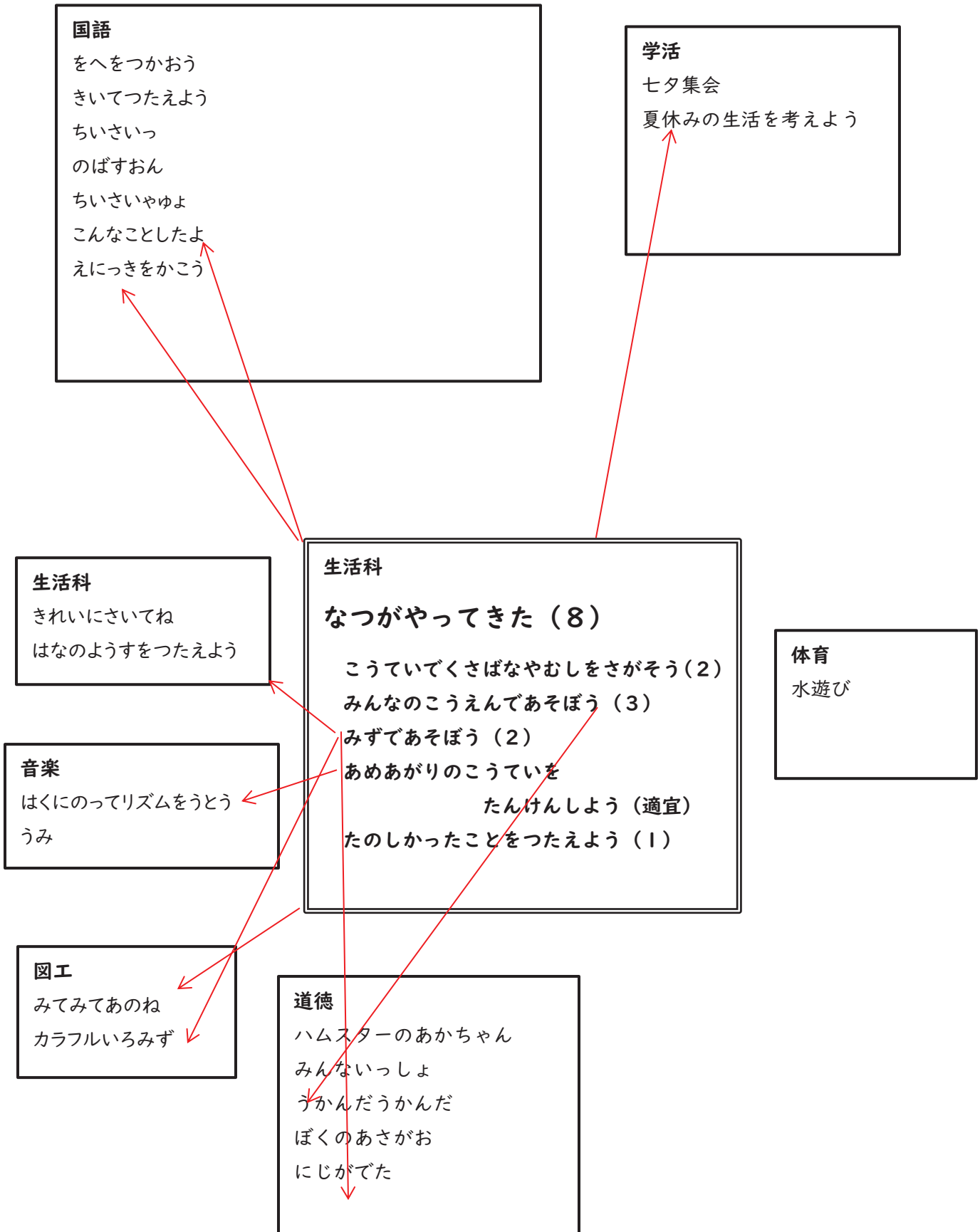


「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながり

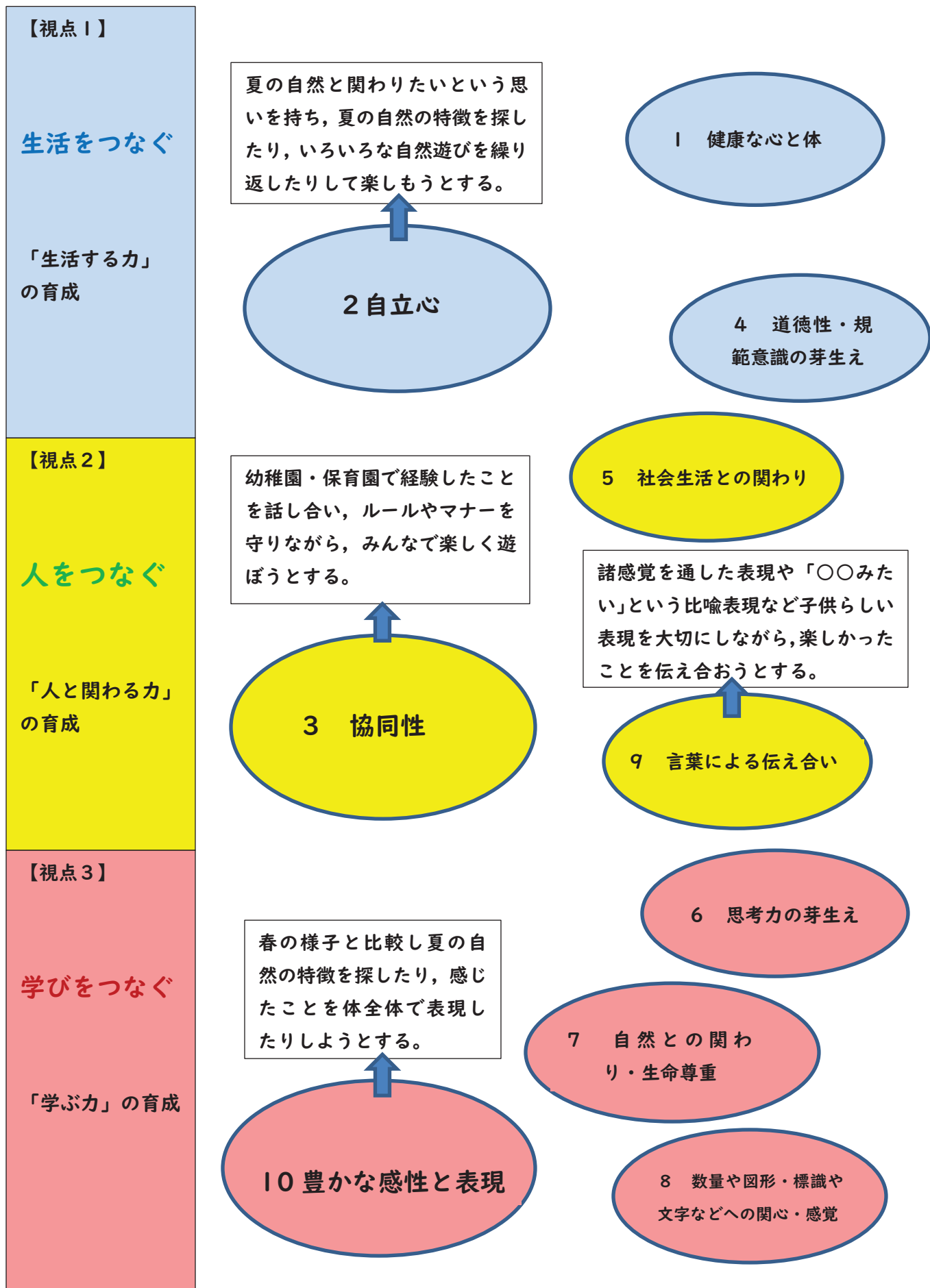


# 生活科 単元デザイン 6～7月

\*体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ、発展していくように、意図をもって環境構成をしたり、単元間や教科間を関連付けたりする。

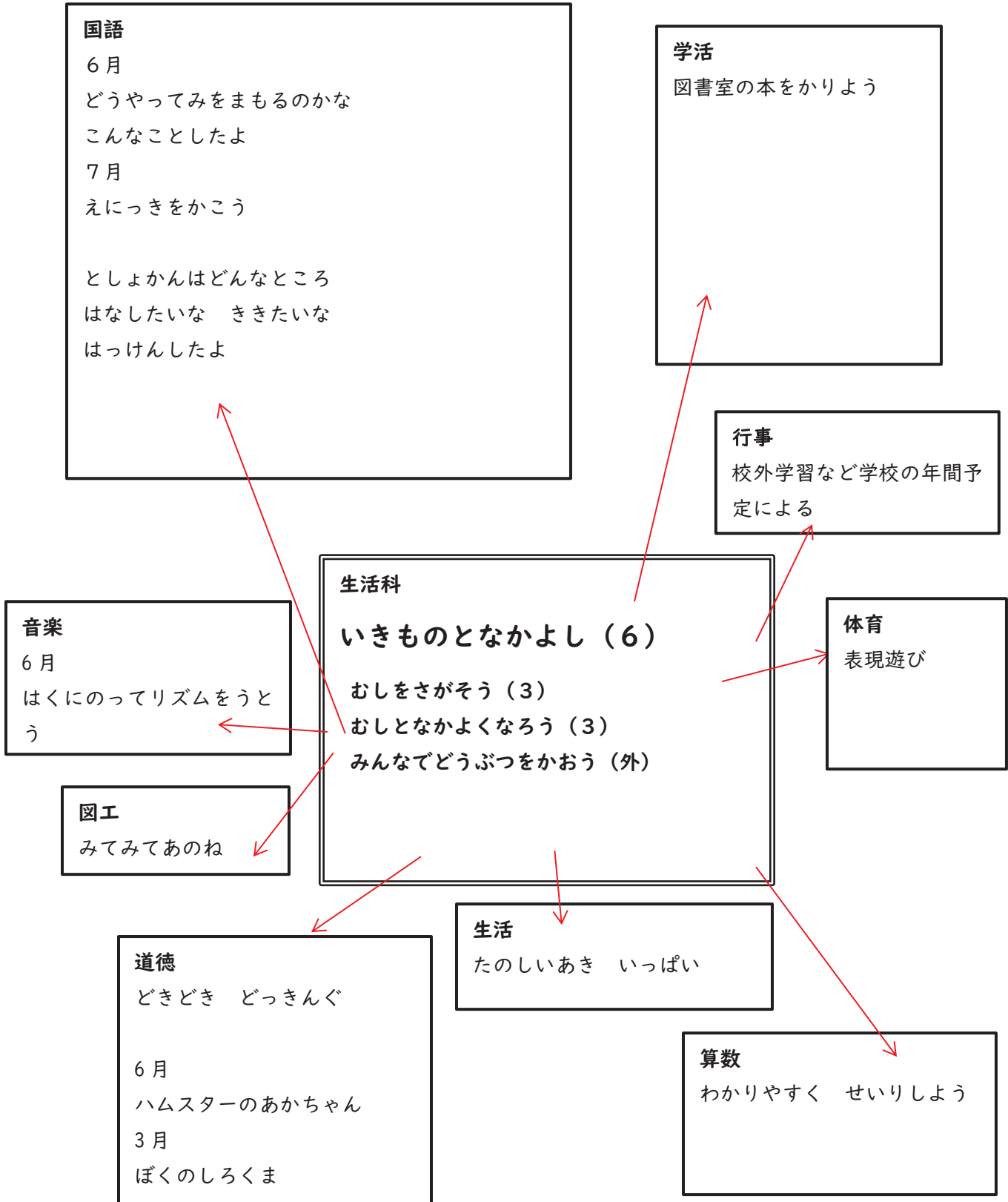


「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながり

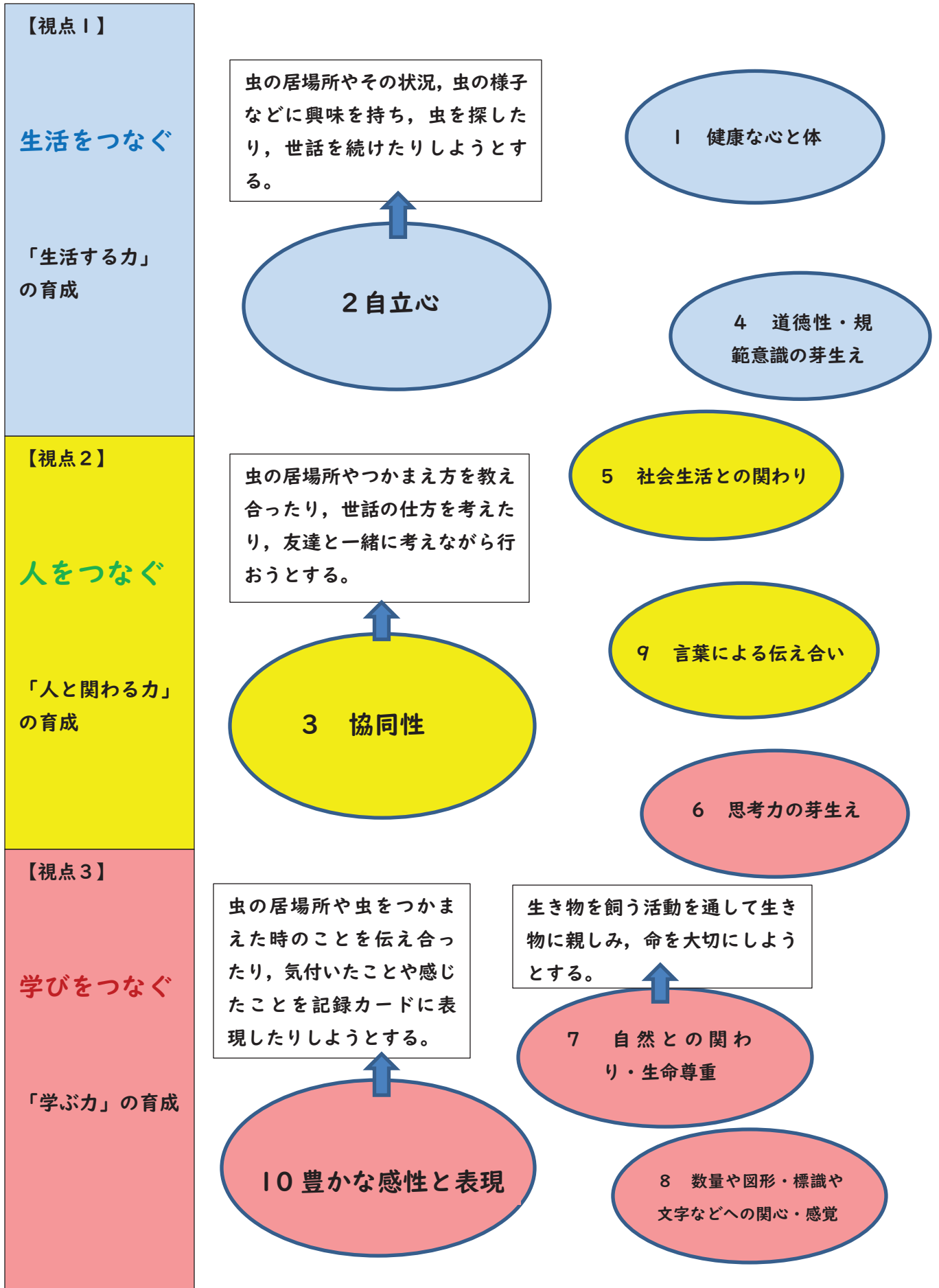


# 生活科 単元デザイン 9月

\*体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ、発展していくように、意図をもって環境構成をしたり、単元間や教科間を関連付けたりする。

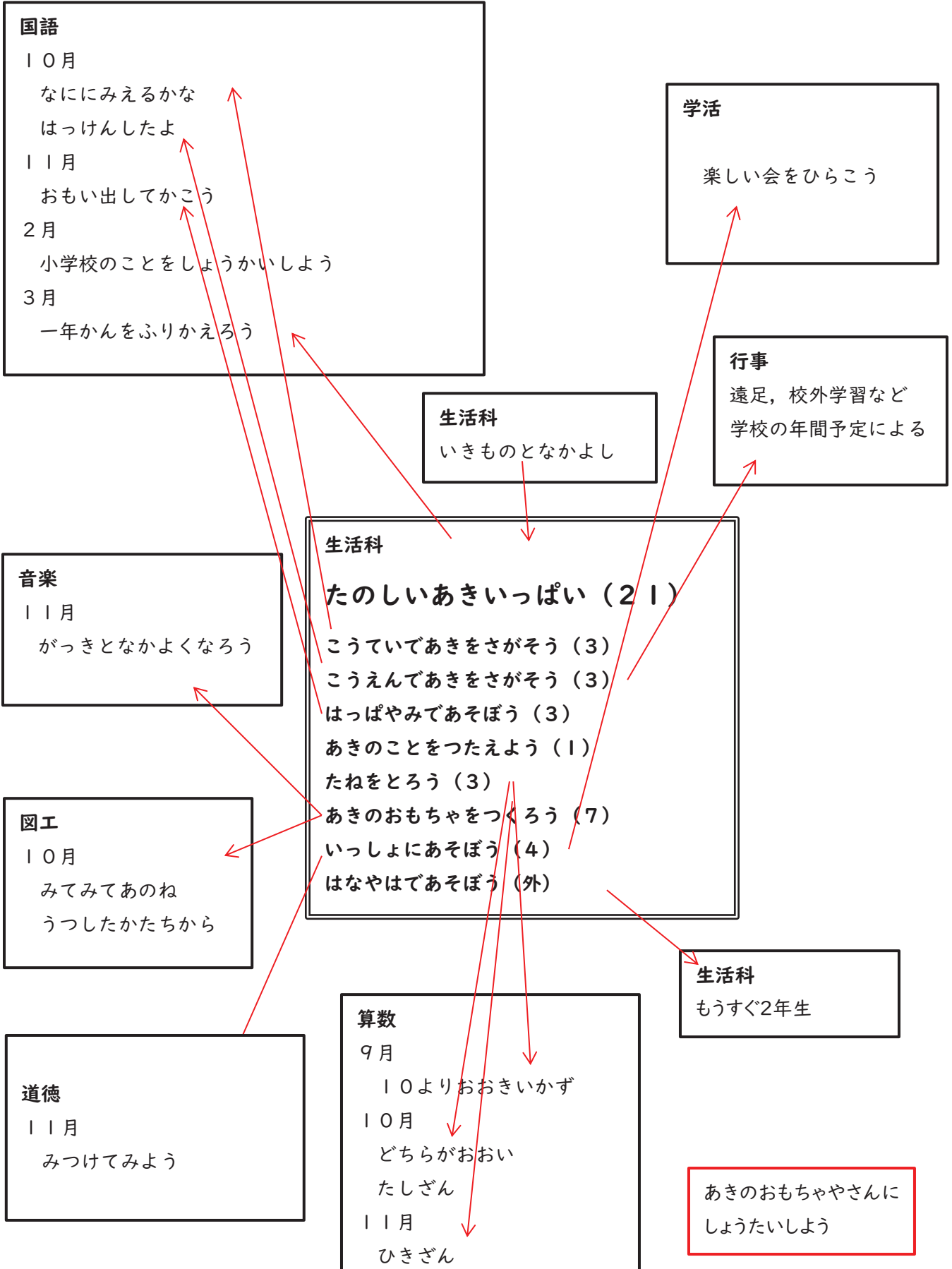


「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながり



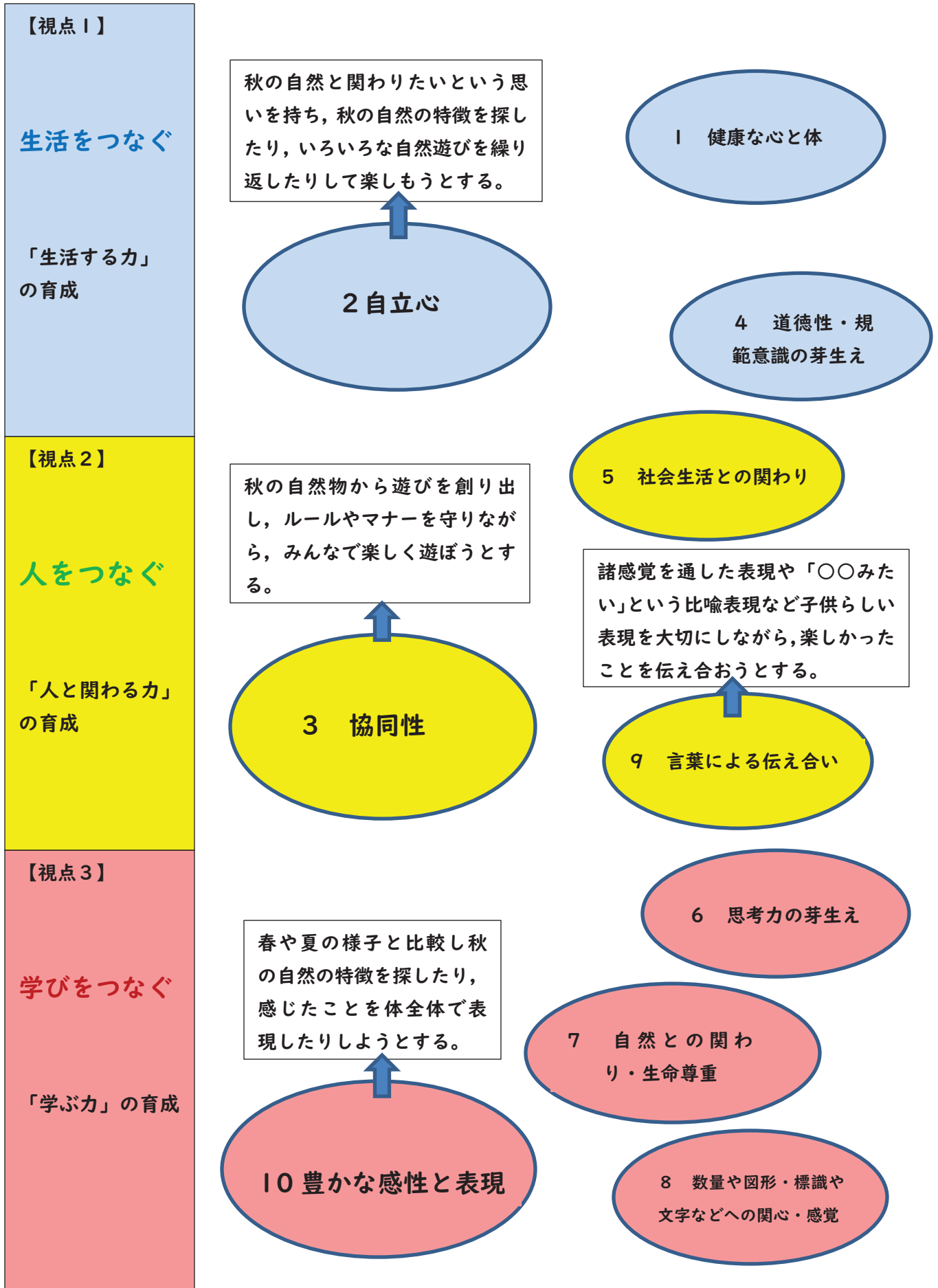
# 生活科 単元デザイン 9~11月

\*体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ、発展していくように、意図をもって環境構成をしたり、単元間や教科間を関連付けたりする。



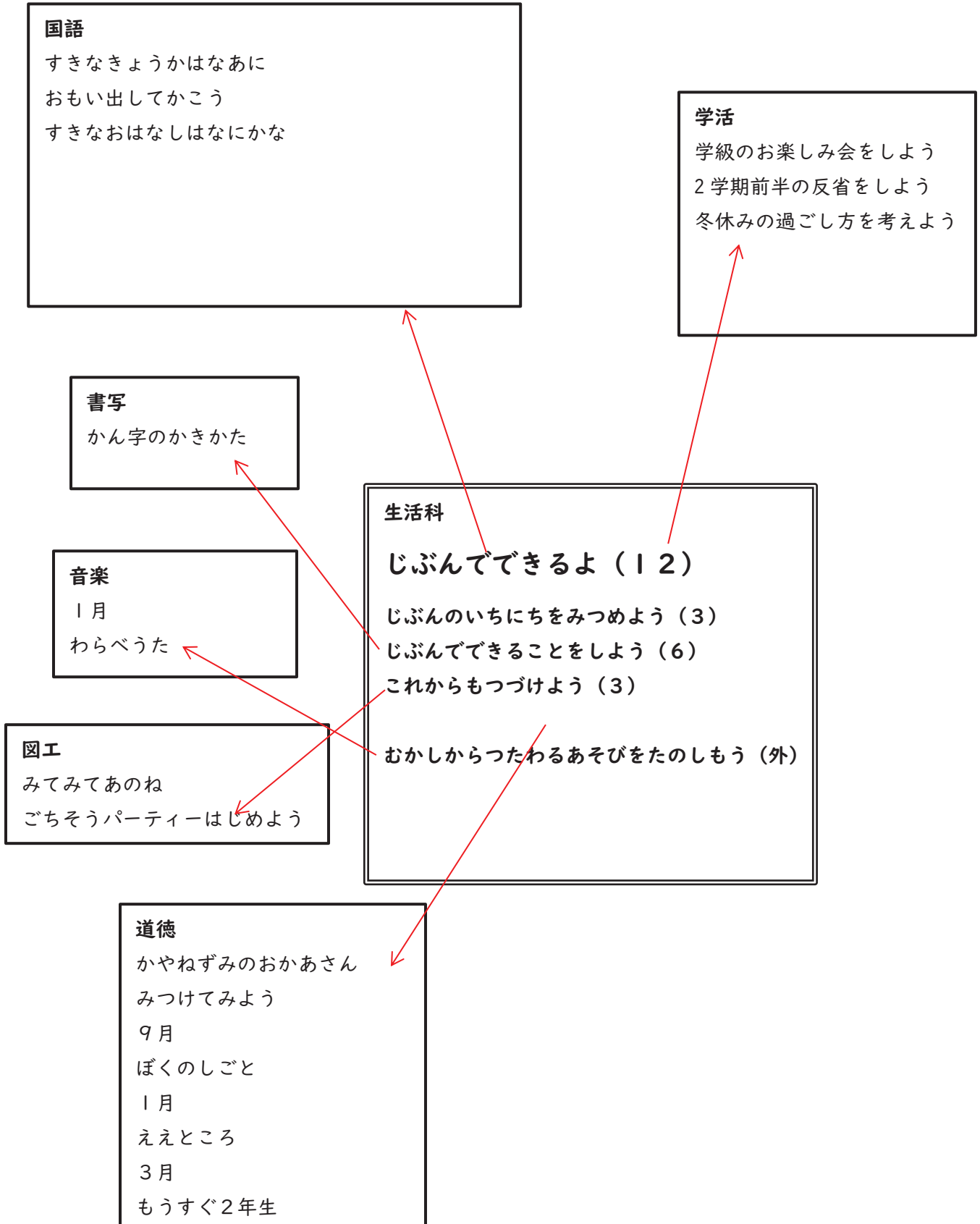


「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながり

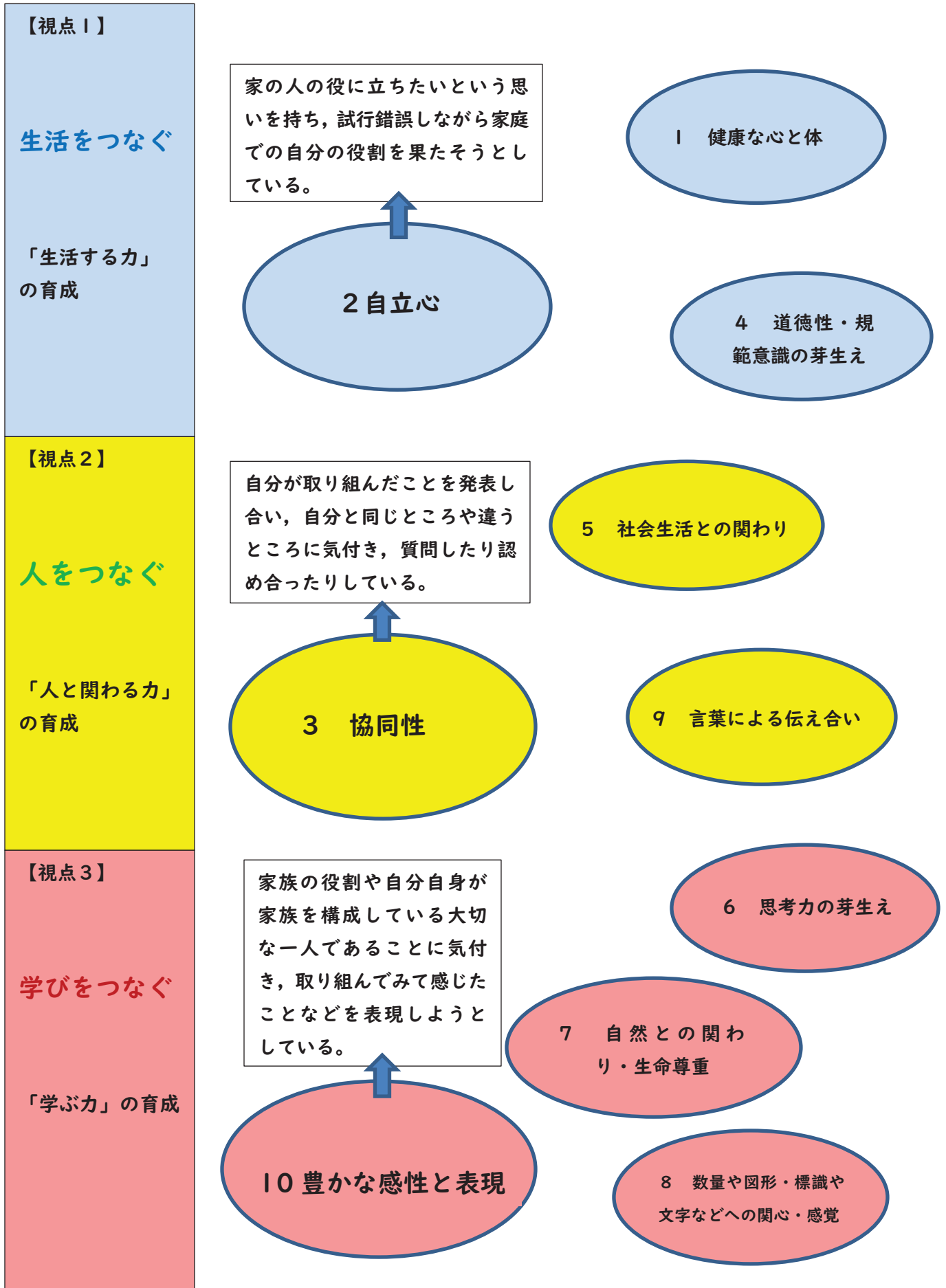


# 生活科 単元デザイン 11～12月

\*体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ、発展していくように、意図をもって環境構成をしたり、単元間や教科間を関連付けたりする。

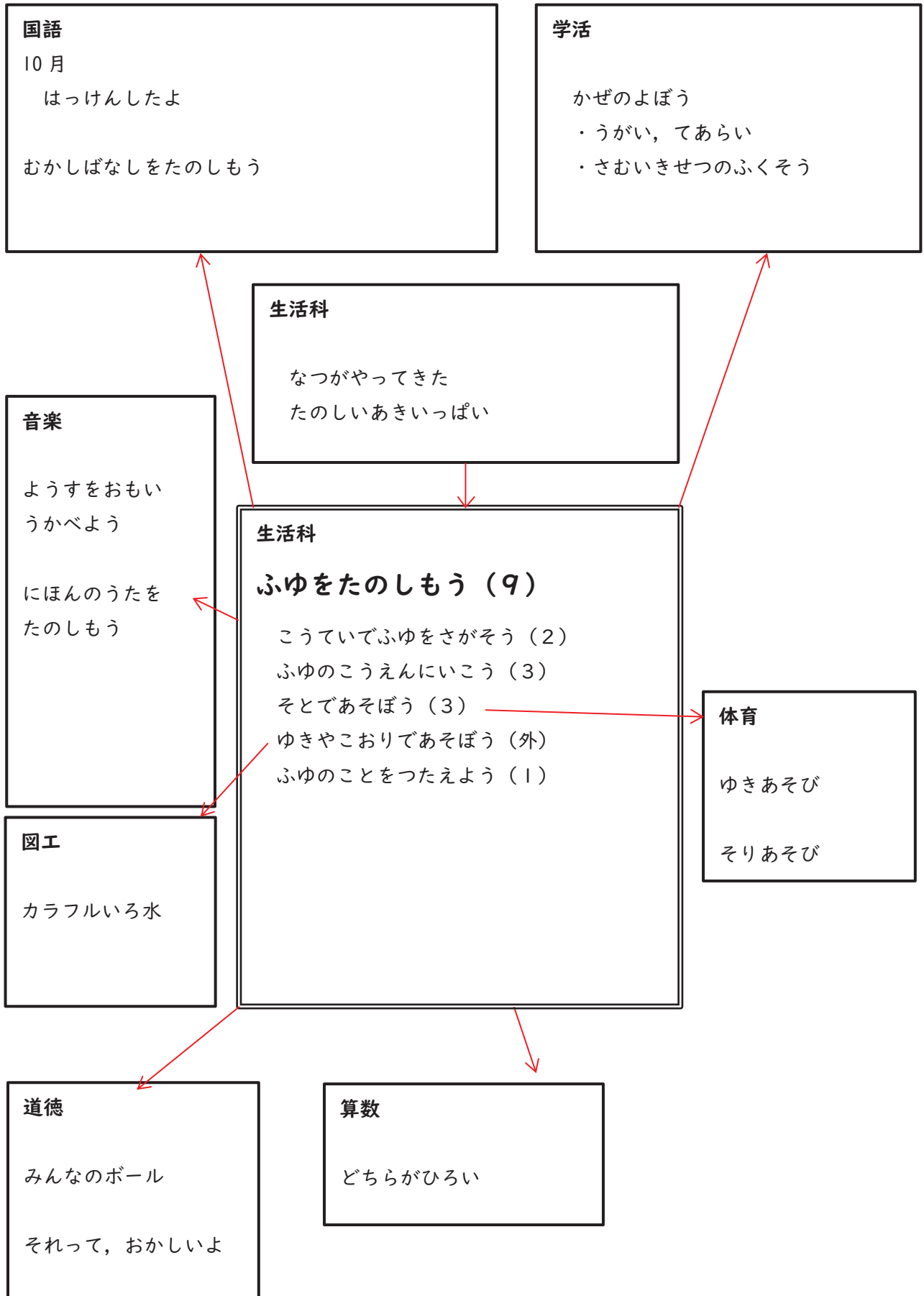


「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながり

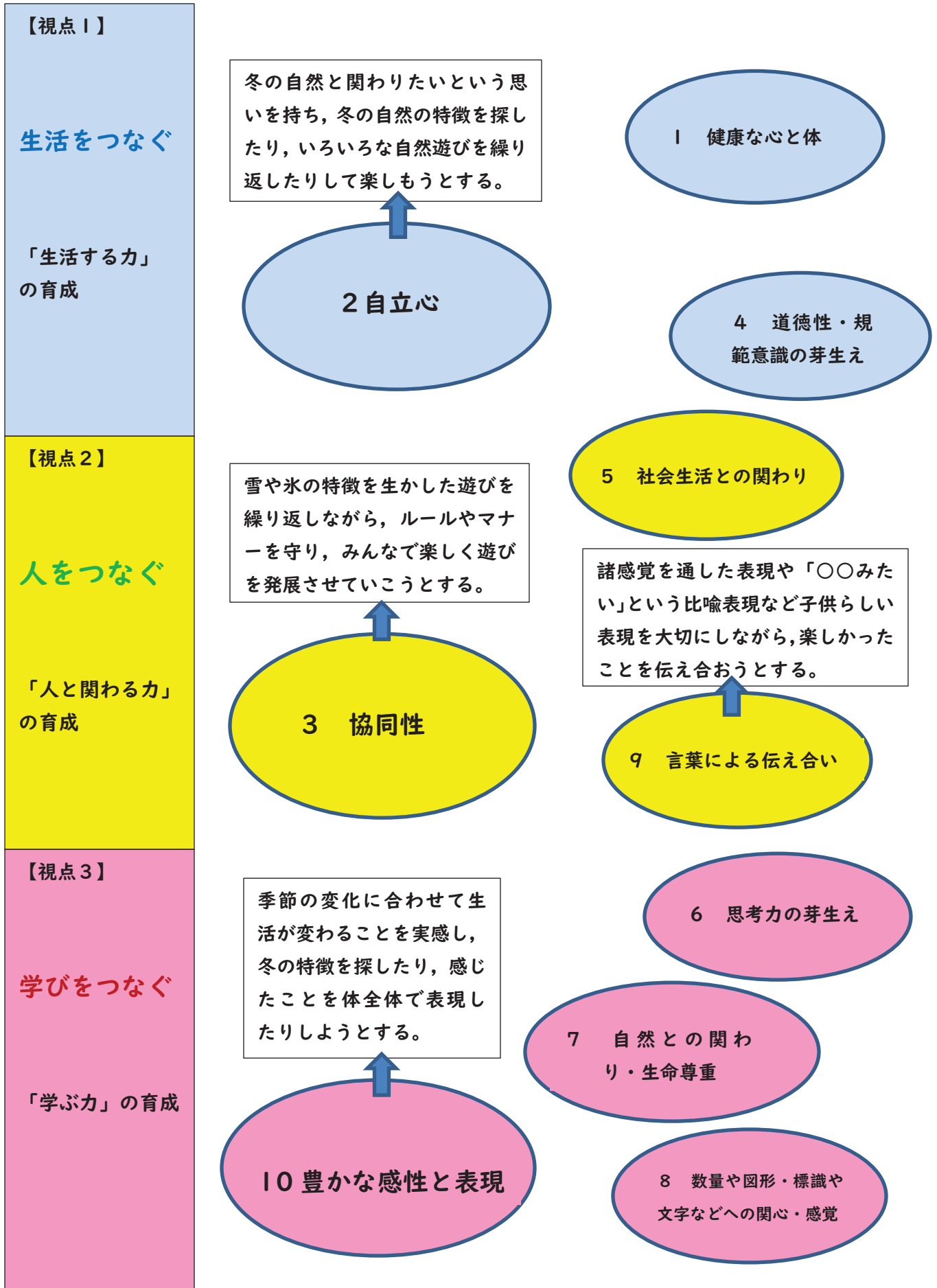


# 生活科 単元デザイン 1月

\*体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ、発展していくように、意図をもって環境構成をしたり、単元間や教科間を関連付けたりする。

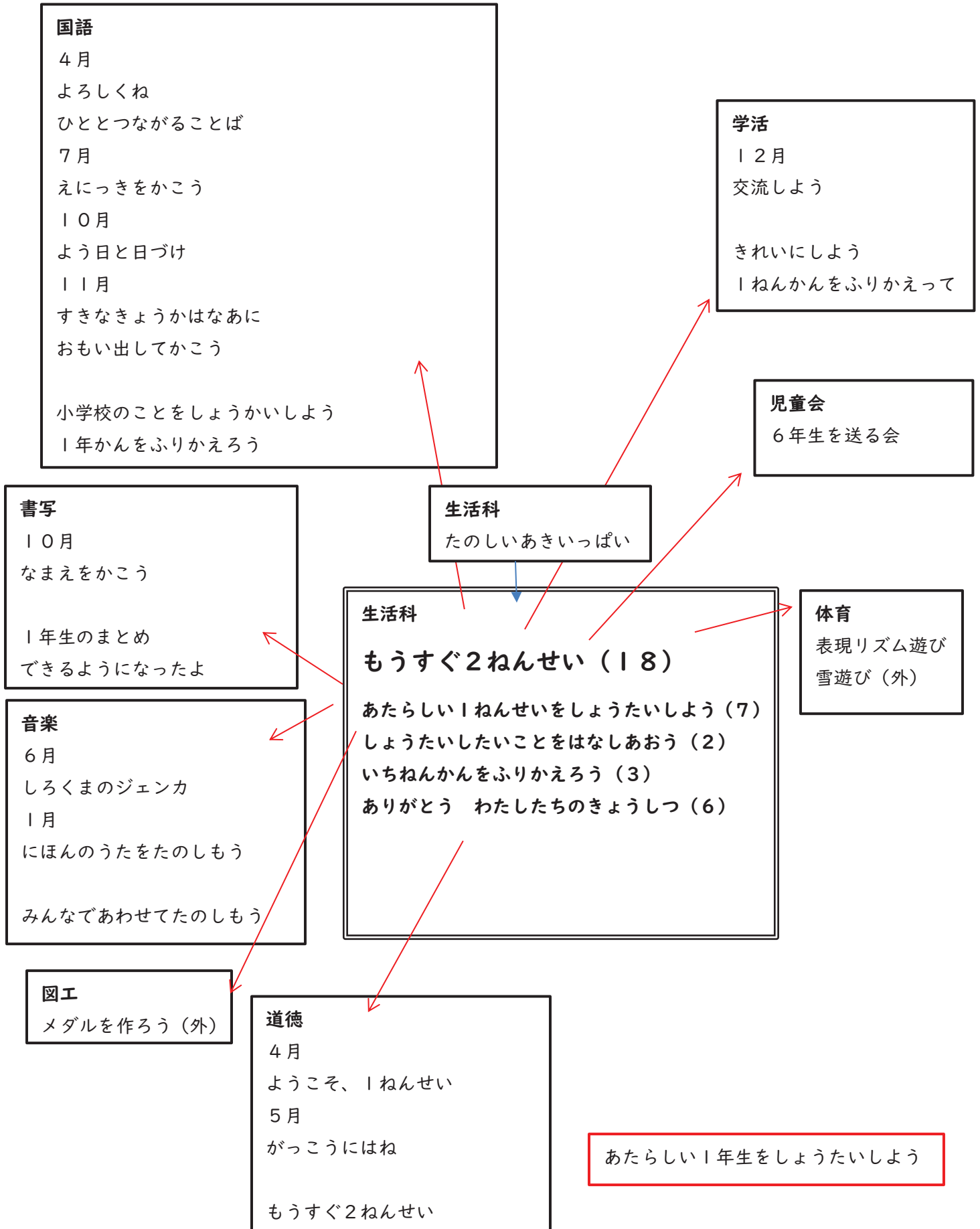


「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながり



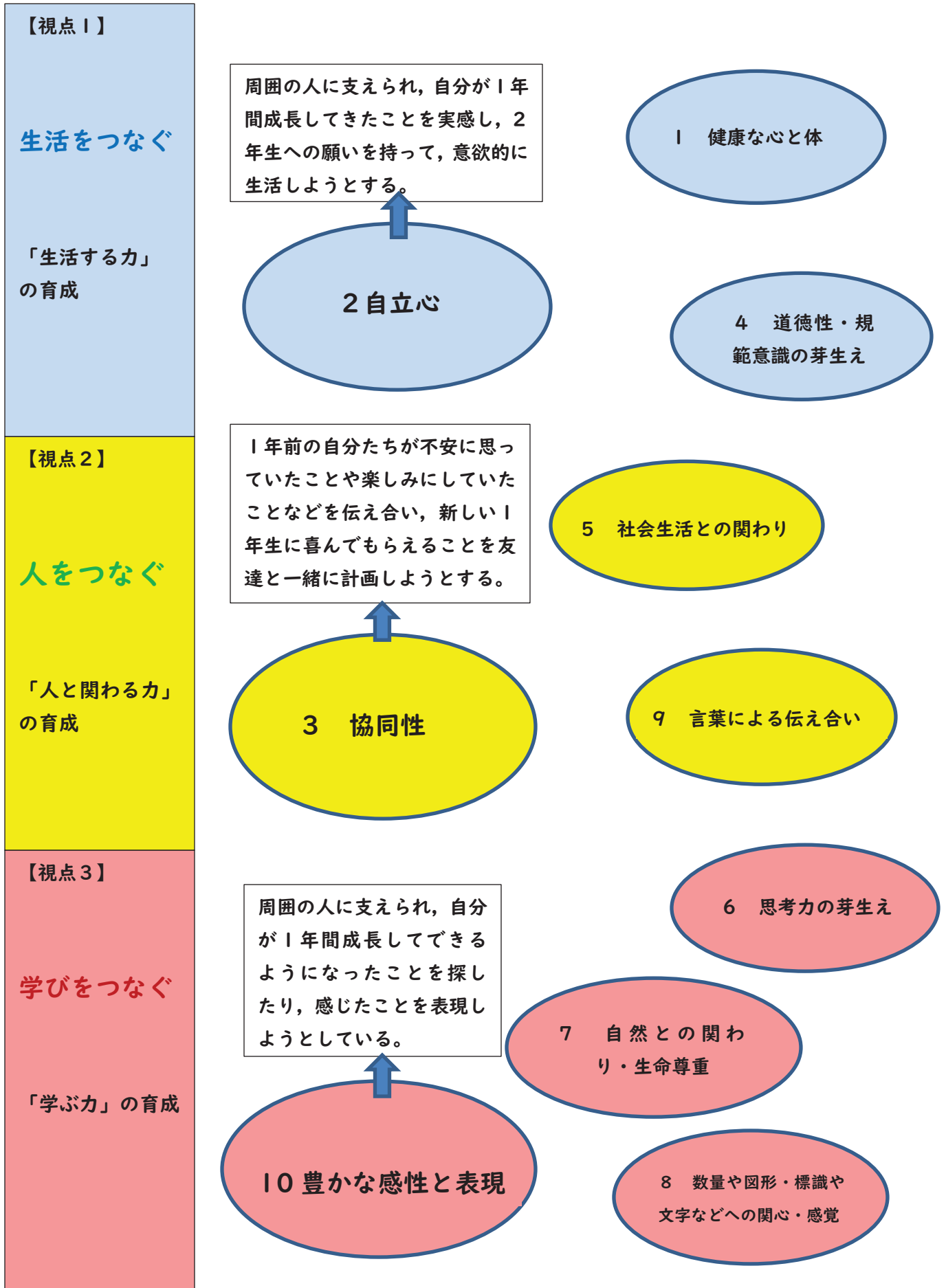
# 生活科 単元デザイン 2～3月

\*体験から児童の思いが膨らみ、活動が生まれ、発展していくように、意図をもって環境構成をしたり、単元間や教科間を関連付けたりする。





「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とのつながり



## 4月 マンスリープラン

### 【今月のねらい】

- 1年生になった喜びを感じられるようにしながら、新しい環境に慣れさせる。
- 教室は安心できる安全な居場所であるということを児童が実感できるようにする。

### 【指導上の留意点】

始業前	○毎朝教室で児童を迎え、困っていることはないか話を聞くなど、安心して生活できるような声がけする。
朝の活動 朝の会	○自分からあいさつができた、しっかり返事ができたりしている児童をほめ、励ましていくようにする。 ○自分の名前だけでなく友達の名前を覚えられるように掲示を工夫する。
学習等の活動	○入学後の3日間が新入学児童にとって学校は楽しい場所であると感じてもらえる大事な期間であるので、特に朝の活動や1時間目等で手遊びや歌遊び、ゲーム、読み聞かせなどを取り入れ、居心地の良い空間作りに努める。 ○チャイムに合わせて行動できるように声がけする。 ○必要な場面で、本やノート、筆箱の置き場所、椅子の座り方・立ち方、発表や挙手の仕方などの学習上の基本的な事項を徹底していく。 ○話は最後まで黙って聞くということを、機会をとらえて指導する。 ○話を聞くときの姿勢を確認し、集中して聞くことができている児童をほめていく。 ○他の園などから来ている児童の仲間づくりがうまくいくように見守る。 ○配布物を後ろに渡すときには「はいどうぞ」と言って渡し、「ありがとう」と言って受け取ることを教えるなど友達と関わりがもてるようにする。 ○トイレ・靴箱の使い方、手洗い、机やロッカーの整理の仕方の絵を提示して説明する。 ○学年全体での活動を設定することで、友達づくりに対する不安を解消するとともに、複数の目で見守る体制をつくる。(少人数担当・七学年担当にも入ってもらう) ○音楽では継続性を意識して、幼稚園や保育園で歌った歌や手遊びを取り入れる ○校舎内を探検する前に、事前に打合せをするなど、校内の教職員に理解を求める。 ○図書館の使い方や本の読み方を指導するとともに、本に対する興味を高めるため図書室での読み聞かせも行う。 ○運動会に向けて集団行動の仕方をしっかり教えていく。体育着のたたみ方や汗の後始末も声がけしていく。 ○検診が入ってくる期間なので、その意味について話をしたり受け方を分かりやすく説明したりして安心感をもたせる。 ○授業の終わりには次の学習の準備をして休み時間にするように指導する。 ○活動に入りにくい児童には、寄り添いながら活動に入れるように声がけする。
休み時間	○遊具の使い方や体育館の使い方を指導しながら、休み時間など安全に使えるように声がけする。
給食時間	○給食当番の仕方、当番ではない時の準備について指導する。うがいと手洗い、給食など身支度を徹底させる。 ○食事のマナーや後片付けについて継続して指導し、楽しい給食の時間となるよう声がけする。
清掃時間	○用具の安全で正しい使い方、後片付けの仕方、身支度や清掃の手順を丁寧に指導する。
帰りの会	○下校班、学童保育利用児童の把握、下校時の並び方、下校指導の協力体制などを事前に確認する。 ○交通事故に十分気をつけさせるなど、連休中の過ごし方をしっかり指導する。
その他	○学習したことを確認できるように、平仮名や数字を教室内に掲示しておく。 ○教室が明るく楽しい雰囲気になるように飾り付けを工夫し、学校生活に期待がもてるようにする。

## 5月 マンスリープラン

### 【今月のねらい】

- 学校生活を楽しみながら、時程に沿った生活ができるようにする。
- 運動会の練習に進んで参加することができるようにする。

### 【指 導 上 の 留 意 点】

始業前	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連休明けには、教室で児童を迎えあいさつを交わしたり声をかけたりしながら、一人一人の様子をしっかりと見る。</li> <li>○自分からあいさつができていない児童をほめるようにする。</li> <li>○連絡帳やプリントなどの提出の仕方を継続して指導する。</li> </ul>
朝の活動 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み聞かせを行い、落ち着いて人の話を聞く習慣づくりに努める。</li> <li>○朝の会の進行の仕方（あいさつ、歌、健康観察、スピーチなど）を指導する。</li> <li>○初めての運動会に期待感をもたせ、応援練習やダンスなどの練習に進んで参加できるようにする。</li> </ul>
学習等の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表の仕方や話を聞く姿勢を徹底して指導する。また、適切な声の大きさと話すことができている児童や良い姿勢ができている児童をほめ、意欲をもたせる。</li> <li>○グループ活動をしたり協力したりする活動を意図的に取り入れ、いろいろな友達とふれ合える場を設定する。</li> <li>○ひらがなの学習の進度に留意しながら、習った文字を様々な場面で使えるようにする。</li> <li>○生活科「学校たんけん」では、入退室時のあいさつの仕方や目上の人への言葉づかいなどを指導する。</li> <li>○4月の児童の様子をもとに、席替えをするなど新しい人間関係をつくるきっかけを考える。</li> <li>○アサガオなどの植物の生長に興味をもたせ、毎日の水やりを進んで行えるよう指導を工夫する。</li> <li>○すばやく集合したり整列したりできるように指導する。（背の順・名簿順など）</li> </ul>
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間割に合わせて教科書とノートを机の上に出してから休み時間にできるように声をかけを続ける。</li> <li>○休み時間のうちにトイレに行く習慣を身に付けることができるようにする。</li> <li>○遊んだときに使った道具等を元の場所に戻すことをしっかり指導する。</li> <li>○休み時間の交友関係に目を配り、仲間はずれが出ないように配慮する。</li> <li>○けんかなどトラブルが起きたときには、互いの思いを聞き、解決できるように導く。</li> </ul>
給食時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○給食当番の仕方や当番でないときの準備について、手際よくできるよう指導する。</li> <li>○衛生面（うがいと手洗い、白衣やマスクの管理）を徹底するよう声がけする。</li> <li>○アレルギーについての情報を確認し、確実に対処できるようにする。</li> <li>○食事のマナーや後片付け、歯みがきについては、4月に引き続き指導を行う。</li> <li>○嫌いなものでも少しずつ食べられるように声がけし、励ます。</li> </ul>
清掃時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○掃除当番は計画的に交代させて、ほうきの使い方や机と椅子の運び方、床のふき方などがどの児童にも分かるように実演しながら丁寧に指導する。</li> <li>○清掃分担を確認するとともに、清掃後のうがいと手洗いを確実にを行うように指導する。</li> </ul>
帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プリントなどの配布物の渡し方を確認する。</li> <li>○週末に持ち帰るもの（白衣や上履き、運動着など）の確認をする。</li> <li>○一人一人の表情に目を配り、楽しく学校生活を送っているかどうかを把握する。</li> <li>○運動会の練習等で疲れを感じている児童も出てくるので、交通安全に十分気を付けて下校するよう声がけする。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動着・紅白帽子・水筒等の管理を自分でできるように声がけする。</li> <li>○連休明けなので、子どもたちの様子（生活リズム、登校渋り等）に十分目を配り、必要に応じて家庭と連絡をとる。</li> <li>○授業中の立ち歩きが見られる児童がいる場合、座席配置や個別指導などを試みるとともに、入学時の資料を見直したり保護者や関係機関との連携を早めにとったりするようにする。</li> </ul>

## 6・7月 マンスリープラン

### 【今月のねらい】

- 学習ルールを身に付け、落ち着いて学習に取り組むことができるようにする。
- 交友関係や行動範囲を広げることができるようにする。

### 【指 導 上 の 留 意 点】

始業前	○始業までの過ごし方、連絡帳等の提出、トイレや水道の使い方の指導を継続する。
朝の活動 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○元気よくあいさつができていた児童をほめ、その良さに気付かせる。</li> <li>○朝の会の進行の仕方を継続して指導する。適切な声の大きさと話さず話せることができる児童をほめ、人前での話し方について知らせる。</li> <li>○話をしている人に体を向けて聞くことができるように声がけする。</li> <li>○蒸し暑さ等でだるさを感じる児童に対して、健康状態をしっかりと把握する。(健康観察時の表情・基本的な生活習慣のチェック・早寝早起き朝ご飯の奨励)</li> </ul>
学習等の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひらがなや10までの数について読んだり書いたりできているか一人一人の実態把握に努める。</li> <li>○児童のノートと同じマス目の黒板を使うなど、児童がどこに何を書けばよいのか分かるようにしてノート指導を行う。</li> <li>○授業中の発表のルールを徹底して指導する。</li> <li>○鍵盤ハーモニカや絵の具セットの出し方や片付け方、整理の仕方を指導する。</li> <li>○水泳学習への興味を高めるとともに、水着の着替え方や水泳後の衣類の後始末の仕方を教室で練習させる。</li> <li>○順番やルールを守って活動している児童をほめ、進んで守ろうとする態度を育てる。</li> <li>○行動範囲の広がりとともにトラブルも増える時期なので、互いの話をよく聞くとともに、自分の気持ちをしっかりと相手に伝えることができるように指導する。また、攻撃的な口調で友達に接している児童には適切な言葉づかいができるように指導する。</li> <li>○友達といっしょに活動したり協力したりする楽しさが分かり、安心して学級の中で活動に取り組めるようにする。</li> </ul>
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外で遊ぶ機会が増え、けがが増える時期でもあるので、けがをした場合にどのように行動すればよいか指導し、実行できるようにさせる。けがをした場合には教師間で情報を共有し、家庭にも連絡する。</li> <li>○雨の日の過ごし方について考えさせ、学校のルールを守れるように声がけする。</li> <li>○トイレは休み時間のうちに行くように継続して声がけする。</li> </ul>
給食時間	○マナーを守って残さず食べられるように声がけする。
清掃時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ほうきの使い方や机と椅子の運び方、床のふき方などをどの児童にも体験させ、教師も共に働きながら丁寧に指導する。</li> <li>○清掃分担を確認するとともに、清掃後のうがいと手洗いを確実にを行うように指導する。</li> </ul>
帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○忘れ物をしないよう、次の日の学習予定や持ち物を確実に伝える。</li> <li>○通学路を歩いて下校しているかどうか確認し、飛び出したり危ない歩き方をしたりしないで下校するよう声がけする。</li> <li>○「いかのおすし」の合言葉などを使って安全指導に努める。</li> <li>○週末に持ち帰るもの（白衣や上履き、運動着など）の確認をする。</li> <li>○毎日の学校生活が楽しいと感じているかチェックし、次の日の指導に生かす。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本格的に学習が展開される時期であり、得意・不得意の感情が起りやすくなるため保護者との情報交換を密にする。</li> <li>○音読に重点を置き、学校だけでなく家庭での練習にも進んで取り組めるよう指導方法を工夫する（がんばりカードなど）とともに保護者からの協力も得る。</li> <li>○宿題や提出物、学習用具などの忘れ物が目立つ児童の保護者と連絡をとり、忘れ物をしないよう家庭での声がけをお願いする。</li> <li>○気温・湿度が高い日は、こまめに水分補給をしたり、タオルで汗をふいたりできるように声掛けをする。</li> </ul>



単元名	がっこう だいすき 20 時間	活動時期	4～5 月
-----	-----------------	------	-------

単元の目標	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとしている。

目標	学習活動	関連する各園での活動
<b>がっこうの ことが しりたいな</b> ・みんなで教室や学校を見て回り、 <b>幼児期に使っていた施設との共通点</b> を探しながら、学校の施設の位置や使い方に気付き、安心して生活をするができるようにする。	1日目：学校生活の過ごし方や教室の使い方を考える。 2日目：名刺をつくって自己紹介をする。 3日目：校庭に出かけ、みんなで遊ぶ。 4日目：学校の中をみんなで歩いてめぐる。 5日目：学校の中を歩いたり、学校生活について話し合ったり、人数集めゲームをしたりする。 6日目：校庭で遊んだり、探検したりして、見付けた物や遊んだことを絵に描く。 7日目：校庭を探検したり、生き物を探したりする。 8日目：校庭で遊び、友達と関わる。	・
<b>みんなと なかよく なりたいな</b> ・友達や学校生活を支える人と関わり、友達の存在やよさに気付き、安心して遊びや学習をしていこうとすることができるようにする。		

<b>ともだちと がっこうを たんけんしよう</b> 4時間（○数字は○時間目）		
・友達の行った施設の情報と自分の思いを照らし合わせて、探検に行きたい場所を選んで探検に行き、学校の施設の特徴に気付くことができるようにする。	①みんなで行った場所を思い出し、班ごとに探検に行く。 ②見付けた物、こと、会った人について伝え合い、もう一度、班ごとに学校探検に行く。 ③前回の探検について話し合い、班ごとに別の場所へ学校探検に行く。 ④見付けた物やこと、会った人について伝え合い、不思議に思ったことやもっと知りたいことを話し合う。	・

**がっこうに いる ひとと なかよく なろう 5時間**

・学校のことを知りたいという思いをもち、自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりして、学校にいる人々の働きや役割に気づき、何度も学校生活を支える人々と関わろうとすることができるようになる。

- ①教科書を見て、どんな人にどんなことを聞きたいか、みんなで話し合い、練習をして聞きに出かける。
- ②分かったことや気付いたことをみんなで伝え合う。
- ③もう一度、聞きに出かける計画を話し合い、知りたいことを聞きに出かける。
- ④探検を振り返り、教頭先生(副校長先生)はどんな仕事をしているのか話し合い、教室に招待する計画を立てる。
- ⑤教頭先生(副校長先生)を招待して、学校の安全について話を聞く。

**がっこうで みつけた ことをつたえよう 4時間**

・学校探検で見つけたことを友達と伝え合い、自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気づき、安心感をもって、学校で遊びや生活をしていこうとすることができるようになる。

- ①学校探検で見つけた人・物・ことの中から一番伝えたいことを決める。
- ②伝えたいことを絵や文で表したり実物や動画を用意したりして、伝える準備をする。
- ③自分の決めた方法で発表し、発表した絵や言葉、写真等を学校の絵地図に付け足す。
- ④友達の話聞いて分かったことや気付いたことを話し合う。

**みんなで つうがくろを あるこう 2時間**

・みんなで通学路を歩き、自分の登下校時の様子を思い起こしながら、安全を守る人々の願いについて話し、実際の登下校時に、安全に気を付けて行動しようとするようにする。

- ①通学路にある、安全を守るための物や人について話し合い、みんなで学校の周りを歩く計画を立てる。
- ②学校周辺の通学路の1コースをみんなで歩き、気付いたことを話し合う。



単元名	きれいに さいてね 8時間	活動時期	5～9月
-----	---------------	------	------

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみを持ち、大切にしようとすることができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみを持ち、大切にしようとしている。

目標	学習活動	関連する各園での活動
----	------	------------

<b>たねを まこう 2時間</b>		
・幼児期や日常での経験に思いを巡らせて、育てる植物を決めたりたねをまいたりして、たねの色や形、大きさなどの特徴に気付くとともに、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとすることができるようにする。	①幼児期の栽培経験を教え合い、教科書を見て植物の花やたねなどを確認し、育てたい植物を決め、たねをまくために必要なことについて話し合う。 ②たねをまき、記録カードに記録する。	・種まき

<b>せわを しよう 1時間</b>		
・きれいな花を咲かせたいという思いを持ち、友達の育てている植物や身近な植物と比較しながら世話の仕方を選ぶ中で、自分が育てている植物が成長していることに気付き、試行錯誤しながら世話をしようとするができるようにする。	<b>常時活動</b> 朝の時間や休み時間などを使って、成長の様子を観察したり、鉢の置き場所や水やりの仕方などを相談したりして世話を続ける。 ①植物の世話をしている気付いたことを紹介し合い、大きく育てるために必要なことについて話し合う。	

<b>はなの ようすを つたえよう 2時間</b>		
・植物を観察し、成長の様子に見通しをもって、開花への期待を話したりかいたりするとともに、開花を喜び、自分が世話をしたことで、植物がきれいな花を咲かせたことに気付き、植物への親しみをもつことができるようにする。	<b>常時活動</b> 朝の時間や休み時間などを使って、植物の世話を続けながら、成長の様子を観察する。 ①開花の様子を伝え合い、伝え合ったことを基に記録カードにかく。 ②開花した花を残す方法を考え、押し花やたたき染めなどをする。	

**たねを とうろ** 3時間

・植物のたねを集めたり、栽培活動をまとめたりする中で、一つのたねからたくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付くとともに、世話を続けられた自分の成長を実感し、これからも植物を育てていくことができるようにする。

**常時活動**

休み時間などを使って植物を観察し、たねを集める。

- ①集めたたねを観察したり数えたりして、分かったことを紹介し合う。
- ②これまでにかいた記録カードを活用して、まとめの作品をつくり、友達と見せ合ってこれまでの栽培活動を振り返る。
- ③とったたねをどうするか話し合い、一人一人の思いに合わせて保存したり作品をつくったりする。

**あきにも そだてよう** 時数外で

・春から植物を育てられた自分の成長を実感して、秋からも植物を育てたいという思いをもち、春から育てた植物との共通点や相違点を探しながら、秋から育てる植物を選んで、育てていこうとすることができるようにする。

・育てたい植物を選び、たねをまいたり、苗や球根を植えたりする。  
・開花を楽しみにし、成長の様子を観察しながら、親しみをもって世話を続ける。

単元名	なつが やって きた 8時間	活動時期	6～7月
-----	----------------	------	------

単元の目標	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとする事ができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	学習活動	関連する各園での活動
----	------	------------

**こうていで くさばなや むしを さがそう 2時間**

・動植物や風、光の特徴など、校庭の自然の様子を観察し、諸感覚を使って夏の動植物や自然と関わり、その特徴に気付くことができるようにする。

- ①校庭で、夏の草花や樹木、虫などの動植物を探したり、それらの様子を観察したりする。
- ②草花や樹木を利用して遊びを工夫したり、遊びに使う物を工夫してついたりして、気付いたことを記録カードにかく。

**みんなの こうえんで あそぼう 3時間**

・公園の遊具や自然物を使ってみんなで遊び、公園は、いろいろな人が使う場所であることや、利用方法やきまりが存在していることなどに気付くとともに、熱中症対策や手洗いなど、病気の予防に努めることができるようにする。

- ①～②ルールやマナーを守りながら、学校と公園を往復したり、遊具や自然物を使ってみんなで遊んだりする。
- ③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて話し合う。

**みずで あそぼう 2時間**

・夏の自然と関わりたいという思いをもち、これまでの経験から遊び方を想像しながら、身近な自然や物を使っていろいろな遊びを楽しみ、遊びを創り出すことの面白さに気付くとともに、夏の自然を楽しむことができるようにする。

- ①これまでの水遊びの経験を教え合い、水を使った夏の遊びについて話し合ってから、友達と一緒に水を使った遊びを楽しむ。
- ②水を使った遊びや、遊びに使う物を工夫してつくり、みんなで遊ぶ。

**あめあがりの こうていを たんけんしよう 時数外で**

・雨上がりの校庭に探検に出かけ、晴れの日と雨の日の自然の様子の変異点を探しながら、天候の様子に合わせて、身近な自然の様子が変化することに気付くことができるようにする。

・雨上がりの自然との関わりを楽しむ。  
・晴れの日との違いから、雨上がりの自然の特徴を見付ける。

**たのしかった ことを つたえよう 1時間**

・夏の自然と自分との関わりを振り返り、気付いたことや楽しかったことを友達と交流する活動を通して、夏の自然を生かして遊ぶ楽しさに気付くとともに、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとすることができるようにする。

①活動したグループごとに、言葉や動作などでお薦めの遊びを紹介する。

単元名	いきものとなかよし 6時間	活動時期	9月
-----	---------------	------	----

単元の目標	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみを持ち、適切な世話をし、大切にしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみを持ち、大切にしようとしている。

目標	学習活動	関連する各園での活動
----	------	------------

### むしをさがそう 3時間

・校庭の草むらなどで虫を探し、それらの特徴や育つ場所に気付くとともに、 <b>これまでの経験から世話の仕方を想像して世話の仕方</b> を決め、教室で飼育しようとするができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①校庭に出かけて虫を探したり、観察したりした後、教室に戻って虫を捕まえる計画を立てる。</li> <li>②虫を探したり捕まえたりする。</li> <li>③捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方、虫の様子などを記録カードにかき、今後の育て方について話し合う。</li> </ul>	
---	--	--

### むしとなかよくなるろう 3時間

・虫の餌やりなどをしながら、虫の様子を観察し、虫に合わせた世話を <b>する</b> 中で、虫が変化していることや、生命をもっていることに <b>気づき</b> 、これからも生き物を大切にしていこうとすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①より適切な虫の飼い方を調べ、飼育環境を整える。 <b>常時活動</b> 朝の時間や休み時間などを使って、餌の用意をしたり、すみかを整えたりして、虫の世話を<b>する</b>。</li> <li>②気付いたことを記録カードにかき友達と伝え合う。</li> <li>③虫をこれからどうするのか話し合い、元いた場所(捕まえた場所)に帰す。</li> </ul>	
--	---	--

### みんなでどうぶつをかおう 時数外

・小動物の立場に立って世話の仕方 <b>を決め</b> ながら、継続的に飼育をし、それらが生命をもっていることや成長していることに <b>気付く</b> とともに、生き物に親しみを持ち、大切にしよう <b>と</b> することができるようにする。	・各学校の実態に応じて、一定期間、飼育環境を整えて動物を飼育し、観察する。	
---	---------------------------------------	--

単元名	たのしい あき いっぱい 21 時間	活動時期	9～11 月
-----	--------------------	------	--------

単元の目標	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してついたり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わる、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してついたりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	学習活動	関連する各園での活動
<b>こうていで あきを さがそう 3時間</b>		
・校庭に出かけ、 <b>幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探し</b> 、色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付くことができるようにする。	①～②校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、木の実などを使ってその場で友達と簡単な遊びをしたりする。 ③夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話し合い、記録カードにかく。	
<b>こうえんで あきを さがそう 3時間</b>		
・身近な自然の様子を観察したり、自然物を利用して遊んだりしながら、秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探し、身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付くことができるようにする。	①～②公園で秋を探すことについて話し合い、ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて話し合い、記録カードにかく。	
<b>はっぱや みで あそぼう 3時間</b>		
・秋の自然と関わりたいという思いをもち、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選び出し、試行錯誤しながら秋の自然を生かした遊びを楽しむことができるようにする。	①～②秋の自然の中で遊ぶ活動について話し合い、秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをついたりする。 ③秋の自然の中での遊びを振り返り、気付いたことを話し合い、記録カードにかく。	



<b>あきの ことをつたえよう</b> 1時間		
<p>・秋の自然と関わったことを振り返り、夏の遊びと秋の遊びを比べ、季節によって生活の様子が変わることへ気づき、季節を生かして遊ぶことに楽しさを感じて、これからも季節の遊びを楽しもうとすることができるようになる。</p>	<p>①秋の自然の中で活動したことを振り返り、友達と紹介し合う。</p>	
<b>あきの おもちゃをつくろう</b> 7時間		
<p>・集めたさまざまな自然物を試しながら比べて材料を選び、自分のおもちゃをつくる中で、いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気づき、試行錯誤して楽しいおもちゃを創り出そうとすることができるようになる。</p>	<p>①秋のおもちゃをつくる活動について話し合い、校庭や公園などで集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料を使って遊ぶ。 ②～⑤おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊び、自分がつくったおもちゃや楽器を改良したり、つくるおもちゃを変えたりして楽しむ。 ⑥～⑦つくったおもちゃで友達と一緒に遊びながら、もっと楽しく遊べるようにつくり方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。</p>	
<b>いっしょにあそぼう</b> 4時間		
<p>・園児の気持ちを想像しながら、一緒に楽しめる遊びやおもちゃを工夫してつくり、自分が遊びを創り出したことでみんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気づき、これからも遊びを創り出そうとすることができるようになる。</p>	<p>①～②自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊ぶために話し合い、準備をする。 ③自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊びを楽しむ。 ④おもちゃをつくったことや遊んだことを振り返り、記録カードにかく。</p>	

単元名	じぶんで できるよ 12 時間	活動時期	11～12 月
-----	-----------------	------	---------

単元の目標	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人によさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどを見付けている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	学習活動	関連する各園での活動
----	------	------------

### じぶんの いちにちを みつめよう 3時間

- |   |  |
|---|--|
| ・自分の生活と比較しながら、家の人の生活を見たり聞いたりし、自分の生活リズムを整えるとともに、自分の生活が家の人に支えられていることに気づき、健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。 | ①～②家庭で自分が毎日していることを調べ、調べたことを基に、家庭での自分の1日の生活を振り返る。<br>③ワークシートを基に、気付いたことについて話し合う。 |
|---|--|

### じぶんで できる ことを しよう 6時間

- |  |  |
|--|--|
| ・自分が家庭で役割を果たしている姿を思い描きながら、家で取り組むことを決め、家の人にはそれぞれに果たしている仕事や役割があることに気づき、自分の役割を果たそうとすることができるようにする。 | ①家の人が行っていることや、家の人にしてもらっていることを振り返る。<br><b>家庭への協力</b><br>家の人が行っていることや、家の人にしてもらっていることを調べる。<br>②調べてきたことを伝え合う。<br>③家庭で自分ができようことを考え、実施する計画を立てる。<br><b>家庭への協力</b><br>自分でできようことに取り組む。<br>④～⑤自分が取り組んだことを発表し合い、さらにできようことを考え、記録カードにかく。<br><b>家庭への協力</b><br>自分が考えたことに取り組む。<br>⑥家庭で取り組んだことを振り返り、よかったことや気付いたことを記録カードにまとめ、伝え合う。 |
|--|--|

**これからも つづけよう 3時間**

・活動前の自分と今の自分を比較して、できるようになったことを見付け、自分自身が家庭を構成している大切な一人であることに気付き、これからも、家庭での自分の役割を果たしていこうとすることができるようになる。

①さらに続けていきたいこと、挑戦したいことを考え、記録カードにかく。

**家庭・常時活動**

家庭や学校で、自分が続けたいことや挑戦したいことに取り組む（1週間程度）。

②自分が続けていることを、グループの友達と伝え合う。

③[期間をおいて]

自分が家庭や学校で続けていることや、続けてよかったことなどを発表し合う。

**むかしから つたわる あそびを たのしもう 時数外**

・地域の人に、昔から伝わる遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付き、進んで触れ合い、交流しようとするができるようになる。

・地域の人を招待したり、訪ねたりして、昔から伝わる遊びを教わり、一緒に遊ぶ。

・楽しかったことや気付いたことを振り返り、遊びを教えてくれた人にお礼の気持ちを伝える。

単元名	ふゆを たのしもう 9時間	活動時期	1月
-----	---------------	------	----

単元の目標	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとする事ができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付いている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	学習活動	関連する各園での活動
----	------	------------

<b>こうていで ふゆを さがそう 2時間</b>		
・季節の自然と関わりたいという思いをもち、これまでに関わった校庭の様子と比較して、校庭の自然の様子が冬になって変化していることに気づき、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとすることができるようにする。	①～②校庭で、冬の動植物を観察したり、霜柱や氷など冬特有の自然を探したり、友達と遊んだりして、気付いたことを記録カードにかく。	

<b>ふゆの こうえんに いこう 3時間</b>		
・冬の公園に行き、自分の生活とのつながりを思い描きながら、公園を支えている人と話したり質問したりして、公園には自分たちが気持ちよく使えるように支えている人々がいることに気づき、大切に利用することができるようにする。	①～②冬の公園での活動について話し合い、ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したり公園にいる人と関わったりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動を通して気付いたことについて話し合い、記録カードにかく。	

<b>そとで あそぼう 3時間</b>		
・自然現象を生かしたおもちゃで繰り返し遊び、原因を探りながらおもちゃを改良したり、遊びを発展させたりして、自然現象の中に一定のきまりがあることに気付くとともに、適切に道具や用具の準備や片付けをすることができるようにする。	①風を利用して、友達と一緒に簡単な遊びを楽しむ。 ②風を利用したおもちゃをつくり、風を利用して友達と一緒に遊びを楽しむ。 ③実際に遊んで気付いたことや友達の工夫を参考にして、自分のおもちゃをさらに工夫して、気付いたことを記録カードにかく。	

<b>ゆきや こおりで あそぼう</b> 時数外		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪や氷を使って、友達と一緒にさまざまな遊びに取り組み、雪や氷を生かして遊びを創り出す面白さに気付き、季節の自然を生かして自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体全体を使って雪や氷に触れたり、雪や氷を使った遊びを工夫したりして、友達と遊びを楽しむ。</li> <li>・友達と、自分のお薦めの遊びを教え合う。</li> </ul>	
<b>ふゆの ことを つたえよう</b> 1時間		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の活動の様子と、夏や秋の活動の様子を季節の流れに沿って並べて話し合い、季節に合わせて自然の様子や生活の様子が変化していくことに気付き、これからも季節に合わせて自分の生活を楽しくしていこうとすることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①冬の自然を観察したり遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。</li> </ul>	

単元名	もうすぐ 2ねんせい 18 時間	活動時期	2～3 月
-----	------------------	------	-------

単元の目標	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするができるようにする。
-------	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることをよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

目標	学習活動	関連する各園での活動
----	------	------------

**あたらしい 1ねんせいを しょうたいしよう 7時間**

・来年度入学してくる新しい1年生に喜んでもらえるように、新しい1年生の気持ちを想像しながら関わり方を決め、学校のことを分かりやすく伝える中で、新しい1年生と関わることをよさに気付くことができるようにする。

- ①入学前や入学直後の気持ちを振り返り、新しい1年生と一緒に何をしたいか、何を教えたいかについて話し合う。
- ②～④新しい1年生を迎える準備をする。
- ⑤会場を整え、全体の会を想定して準備・リハーサルをする。
- ⑥～⑦新しい1年生を招待して、一緒に活動する。

**しょうたいした ことを はなしあおう 2時間**

・自分と新しい1年生との関わりを思い起こして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気づき、これからも新しい1年生と関わっていくことができるようにする。

- ①新しい1年生と関わって感じたことや気付いたことを話し合う。
- ②一緒に活動した幼稚園・保育所等の園児から送られてきた手紙を読み、招待した活動を通して、自分たちができるようになったことを振り返る。

**いちねんかんを ふりかえろう 3時間**

・入学した頃の自分と今の自分を比較して、自分のできるようになったことを探したり、実際にやってみたりする中で、友達と仲良く遊べるようになったこと

- ①写真や動画などの手がかりをもとに、1年間の出来事をみんなで振り返る。
- ②これまでかきためてきた記録カードや作品を整理してまとめ、1年間の成長を振り返る。



<p>など、自分の内面的な成長に気付くことができるようにする。</p>	<p>③前時にまとめたものを、グループや全体で紹介し合い、1年間の成長を振り返る。</p>	
<p><b>ありがとう わたしたちの きょうしつ 6時間</b></p>		
<p>・自分たちの1年間の生活を作品にまとめ、自分の成長と周囲の人々の存在を関連付け、自分の成長は周囲の人々に支えられていることに気付き、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとするができるようにする。</p>	<p>①来年度入学してくる1年生のために、自分たちができることを話し合う。 ②～⑤新しい1年生のために教室の準備をする。 ⑥新しい1年生のために準備した教室内を見て、改めて1年間のことを振り返り、2年生になって取り組んでみたいことなどについて話し合う。</p>	